

ENTRANCE EXAM
GUIDE BOOK

入試ガイドブック
2026



Jumonji University

十文字学園女子大学



総合型選抜に「探究学習アピール方式」を導入!!

探究学習アピール方式／まなび活動方式／アドミッション・オフィス方式 の3つの方式で実施します。
あなたの“高校時代の頑張り”や“長所（良いところ）・強み”、“思考力・考察力”等の魅力を教えてください！
▶詳細は13ページをご確認ください。

英語外部試験を利用して受験できる!!

一般選抜では、外部試験（英検等）のスコアを得点に換算できます。点数が予め分かるため、他の科目の勉強に集中できます！ ▶詳細は24ページをご確認ください。

大学入学共通テスト利用選抜の検定料が無料!!

一般選抜との同時出願もできます。負担額は減り、チャンスが広がります！ ▶詳細は5ページをご確認ください。

特待生のチャンスは2回!!

給付特待チャレンジ入試と一般選抜S日程で、特待生が狙えます！ 特待生の種類は3つあります。
特別特待生／一般特待生／科目特待生 ※それぞれで優遇の内容が異なります。 ▶詳細は6ページをご確認ください。

アドミッション・ポリシー

十文字学園女子大学では、建学の精神である「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」に賛同し、かつ次の項目に該当する学生を求める。受験生の特徴がより発揮されることを目指して、さまざまな入試種別を用意しています。

- 1.自分らしい生きがいを実現するため、大学での学びの基本となる、高校までの教科に関する基礎的な知識と技能を身につけ、自らの人生を主体的に考えていること
- 2.他者と協働しつつ、人への理解を深め寄り添う気持ちがあること
- 3.これからの社会における女性の生き方を積極的に考え、豊かな社会・地域や人間生活の実現を目指そうとする意欲があること

社会情報デザイン学部
社会情報デザイン学科

社会情報デザイン学科では、本学科に入学してくる学生が、学科の人材育成目的の達成に向けて開設される科目群を履修することによって、卒業時までには自身の将来の展望を見出し、それに必要な汎用的スキルと専門知識を獲得し、そしてその後の絶えざる自己研鑽の姿勢を形成できるようになるために、以下の資質・能力を有する人を求める。

- 1.多様化・複雑化する社会の出来事に対して興味がある。
- 2.他者と互いを尊重し認め合いながら協働しようとする意欲がある。
- 3.課題の発見・解決の基礎となる論理的思考力を備えている。

人間生活学部 健康栄養学科

健康栄養学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を求める。

- 1.栄養・運動・食文化に強い関心を持ち、健康的な生活を思考・実践したい。
- 2.健康に関する諸問題を栄養及び運動、食文化の視点から考察し、他者を支援したい。
- 3.多様な人々と協働し、社会の健康づくりに貢献したいという意欲がある。

人間生活学部 食物栄養学科

食物栄養学科では、食・栄養・健康に関心を持つ、次のような学生を求める。

- 1.ヒトや課題について科学的視点に立ち、理解をしようとする意欲がある。
- 2.人々の幸せに寄与し、社会に貢献したいという意欲がある。
- 3.倫理観と責任感をもって、協調しながら問題を解決しようとする意欲がある。

人間生活学部 食品開発学科

食品開発学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を求める。

- 1.食の科学をベースとして、開発、おいしさ、安全と安心、機能性、ビジネスに関して興味・関心があり、主体的、継続的に知識や技術を学ぶ意欲がある。
- 2.人々の健康や幸せに寄与する食品を創造するための開発研究に強い興味・関心がある。
- 3.将来、食のスペシャリストとして、新しい食品の創造・開発や食サービスを通して、社会に貢献する意欲がある。

人間生活学部 人間福祉学科

人間福祉学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を求める。

- 1.人間の尊厳を守り、基本的人権を尊重することができる。
- 2.社会福祉に興味を持ち、共感的態度をもって、人を支援することを志向できる。
- 3.健康長寿社会の課題に関心を持ち、地域社会と関わりながら、その解決に向け積極的に取り組むことができる。

教育人文学部 幼児教育学科

幼児教育学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を

求める。

- 1.基礎的な学力を身につけている。
- 2.豊かな感性をもっている。
- 3.人と協力して物事を進めていくことができ、基本的な社会性を備えている。
- 4.子どもと共に学び、子どもと共に成長しようとする意欲がある。

教育人文学部 児童教育学科

児童教育学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を求める。

- 1.自分のよさを伸ばしたい。
- 2.子どもの喜びを自分の喜びとする。
- 3.知的好奇心に富み、学び続ける力を備えている。

教育人文学部 心理学科

心理学科では、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような学生を求める。

- 1.人間の心と行動に対して興味がある。
- 2.共感的態度を有し、他者を支援したいという意欲がある。
- 3.知的好奇心に富み、物事を科学的・論理的に考察する思考力を備えている。

教育人文学部 文芸文化学科

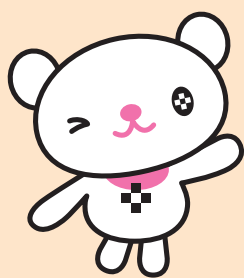
文芸文化学科では、学園歌「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」の精神に基づき、教育研究上の目的と教育内容を踏まえたうえで、次のような点を評価して入学者を受け入れる。

- 1.言葉や有する人間が生み出した文化・芸術に知的な好奇心を抱き、それを追究するための深い洞察力を得たい。
- 2.多様な文化的背景をもつ人々との協働を視野に、論理的な思考力、柔軟な発想力、的確な表現力を身につけたい。
- 3.生涯を通して持続可能な教養を身につけ、新たな文化・芸術を創造する意欲がある。

CONTENTS

アドミッション・ポリシー	1
各入試の出願資格	3
募集定員・入学検定料	4
同時出願・各種割引制度・優遇制度	5
入学時学業特待生制度	6
学費	7
奨学金制度・指定学生会館のご案内	8
総合型選抜体験会	9
サマースクール	11
出願から入学手続きまでの流れ	12
各入試制度と特徴	
総合型選抜	13
・十文字の教育理念や教育内容に関心があり、目的意識や意欲をアピールしたい ・早めに進学先を決めたい	
学校推薦型選抜（指定校制・十文字ファミリー入試）	21
・十文字が第一志望 ・高校生活での実績を活かしたい	
給付特待チャレンジ入試	22
・特待生を狙い、学費を抑えて進学したい	
一般選抜	23
・得意な教科・科目で勝負したい ・英語外部試験を利用したい	
大学入学共通テスト利用選抜	25
・大学入学共通テストの成績を利用したい	
特別選抜（社会人・帰国生徒・学士・短期大学士）・編入学選抜	26
・十文字でさらに専門的な勉強をしたい ・キャリアアップで資格取得を目指したい ・学歴を高めたい	
留学生選抜	
・十文字で学びたい外国籍の方	
2025年度 入試結果	27
出願に関する Q & A	29
過去問題（総合型選抜：作文・小論文）	30

あなたのもっている
力が発揮できる
入試方法で
チャレンジしてください！
あなたにあった入試方法が
きっとあるよ!!



各入試の出願資格

総合型選抜

- 次の①～⑤項目すべてに該当する女性
- ①高等学校または中等教育学校を卒業した者。(2026年3月卒業見込みの者を含む)
 - ②通常の課程による12年間の学校教育を修了した者及び2026年3月修了見込みの者。
 - ③学校教育法施行規則の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び、2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
 - ④志望学科の教育内容に強い関心を持ち、入学後の勉学に対する明確な目的意識を持っている者。
 - ⑤本学を第一志望(専願)とする者。
※Ⅳ期・Ⅴ期に限り⑤は除く。

学校推薦型選抜

- (1) 指定校制
出願資格等(学習成績の状況の基準等)については、在籍している高等学校等で確認してください。
- (2) 十文字ファミリー入試
次の①～④項目すべてに該当する女性
- ①高等学校または中等教育学校を2026年3月卒業見込みの者。
 - ②出身高等学校長または中等教育学校長が推薦する者。
 - ③学習成績の状況が、次の条件を満たす者。
食物栄養学科※ 3.4以上
幼児教育学科、心理学科、文芸文化学科 3.2以上
社会情報デザイン学科、健康栄養学科※、食品開発学科※、人間福祉学科社会福祉・保育コース、人間福祉学科社会福祉・介護福祉コース、児童教育学科 3.0以上
※化学基礎及び生物基礎を履修していること。
 - ④十文字学園女子大学・短期大学部、十文字中学・高等学校を卒業または在学している方の3親等以内の親族の者。

給付特待チャレンジ入試・ 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜

- 次のいずれかに該当する女性
- ①高等学校または中等教育学校を卒業した者。(2026年3月卒業見込みの者を含む)
 - ②通常の課程による12年間の学校教育を修了した者及び2026年3月修了見込みの者。
 - ③学校教育法施行規則の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び、2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

社会人選抜

- 大学入学資格を有し、次の①②いずれかに該当する女性
- ①入学時の満年齢が24歳以上の者。
 - ②職歴のある者、またはボランティア活動等の実践的な社会活動の経験を持つ者で、入学時の満年齢が22歳以上の者。
※職歴、ボランティア活動等の経験については出願前に必ず入試課へご相談ください。

帰国生徒選抜

「学校教育における12年の課程」のうち、外国において最終学年を含めて2年以上継続して教育を受け、2025年4月1日から2026年3月31日までに卒業(修了)した女性または卒業(修了)見込みの女性。ただし、現地日本人学校を除く。

学士・短期大学士選抜

大学または短期大学(部)を卒業した女性もしくは2026年3月卒業見込みの女性

留学生特別選抜

- 外国籍を有し、次の①②のいずれかに該当し、③④(⑦～⑩のいずれか)⑤の条件を満たす女性
- ①外国において12年間の学校教育を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - ②国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEA資格、国際Aレベル資格、欧州バカロレア資格を持つ者。
 - ③「出入国管理及び難民認定法」により、在留資格が「留学」に該当する者、もしくは受験のための「短期滞在」資格を有する者。ただし、指定校方式(国内試験)または一般入学試験方式(国内試験)での受験を選択した場合に限る。
 - ④⑦(公財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験(JLPT) N 2レベル(相当)の者。または、(独)日本学生支援機構が実施する日本留学生試験(EJU)の「日本語」(記述を除く)と「総合科目」を受験した者。ただし「日本語」(記述を除く)の得点が200点以上。
④⑧(一財)日中亜細亜教育医療文化交流機構が実施する日本大学連合学力試験(JPUUE)を受験した者。
④⑨ 本学において、個別の入学資格審査により④⑦を満たす者と同等以上の学力があると認めた者。
※④⑩で出願しようとする者は、出願期間前に個別の入学資格審査を行うため、入試課までご相談ください。ただし、④⑦・④⑧が実施されていない場合に限る。
 - ⑤本学入学から卒業までの学費・生活費が確実に支弁できる者。
※指定校方式で出願する場合は、上記以外にも出願資格がありますので、在籍している日本語学校で確認してください。

編入学選抜

次のいずれかに該当する女性

- ①大学・短期大学及び高等専門学校を卒業、または2026年3月卒業見込みの者。もしくは、これに準ずる者。
- ②大学の2年次を修了し62単位以上修得、または2026年3月修了見込みで62単位以上修得見込みの者。
- ③専修学校の専門課程(専門学校)のうち、文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であること)を満たすものを修了、または修了見込みの者。

ただし、学校教育法に規定する大学入学資格に該当する者に限る。

- ④高等学校の専攻科の課程(修業年限が2年以上であること。その他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者または2026年3月に修了見込みの者。

編入学選抜(留学生特別選抜)

(1) 外国の学校(大学・短期大学等)を卒業または卒業見込みの者で、日本語学校等に在籍している者。

次のすべての条件を満たす女性

- ①外国において学校教育における14年の課程を修了した者及び修了見込みの者。
 - ②外国において高等教育機関における2年以上の課程を修了した者及び修了見込みの者。
 - ③「出入国管理及び難民認定法」により、在留資格が「留学」に該当する者、もしくは受験のための「短期滞在」資格を有する者。
 - ④⑦(公財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験(JLPT) N 2レベル(相当)の者。または(独)日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」と「総合科目」を受験した者。ただし「日本語」の得点が200点以上(記述の点数は含まない)の者。
④⑧ 本学において、個別の入学資格審査により④⑦を満たす者と同等以上の学力があると認めた者。ただし、④⑧が実施していない場合に限る。
 - ⑤本学入学から卒業までの学費・生活費が確実に支弁できる者。
- (2) 日本の学校(大学・短期大学・専門学校等)を卒業または卒業見込みの者。
- 次の①②③のいずれかに該当し、さらに④⑤⑥のすべての条件を満たす女性
- ①大学・短期大学及び高等専門学校を卒業または2026年3月卒業見込みの者、もしくはこれに準ずる者。
 - ②大学の2年次を修了し62単位以上修得、または2026年3月修了見込みで62単位以上修得見込みの者。
 - ③専修学校の専門課程(専門学校)のうち、文部科学大臣の定める基準(修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であること)を満たすものを修了、または修了見込みの者。ただし、学校教育法に規定する大学入学資格に該当する者に限る。
 - ④「出入国管理及び難民認定法」により、在留資格が「留学」に該当する者、もしくは受験のための「短期滞在」資格を有する者。
 - ⑤⑦(公財)日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験(JLPT) N 2レベル(相当)の者。または(独)日本学生支援機構が実施する日本留学試験の「日本語」と「総合科目」を受験した者。ただし「日本語」の得点が200点以上(記述の点数は含まない)の者。
④⑧ 本学において、個別の入学資格審査により⑤⑦を満たす者と同等以上の学力があると認めた者。ただし、⑤⑧が実施していない場合に限る。
 - ⑥本学入学から卒業までの学費・生活費が確実に支弁できる者。

募集定員

学部・学科／コース	定員	総合型 選抜 (Ⅰ～Ⅴ期)	学校推薦型選抜		給付特待 チャレンジ 入試	一般選抜 (S～C日程)	大学入学 共通テスト 利用選抜 (Ⅰ～Ⅲ期)	社会人・ 帰国生徒・ 学士・ 短期大学士・ 留学生 特別選抜
			指定校制 (Ⅰ・Ⅱ期)	十文字 ファミリー 入試				

社会情報デザイン学部

■社会情報デザイン学科	70	25	20	若干名	5	15	5	若干名
-------------	----	----	----	-----	---	----	---	-----

人間生活学部

■健康栄養学科		120	35	35	若干名	10	32	8	若干名
■食物栄養学科		120	30	30	若干名	10	40	10	若干名
■食品開発学科		40	10	10	若干名	4	14	2	若干名
■人間福祉学科	社会福祉・ 保育コース	50	12	10	若干名	5	18	5	若干名
	社会福祉・ 介護福祉コース	20	4	5	若干名	3	6	2	若干名

教育人文学部

■幼児教育学科	100	40	30	若干名	5	15	10	若干名
■児童教育学科	60	20	20	若干名	3	13	4	若干名
■心理学科	110	40	30	若干名	5	25	10	若干名
■文芸文化学科	70	12	15	若干名	8	25	10	若干名

試験結果により、合格者数は募集定員を下回る場合があります。

入学検定料

入試種別	入学検定料
総合型選抜	35,000円
学校推薦型選抜	
給付特待チャレンジ入試	
一般選抜	
大学入学共通テスト利用選抜	無料
特別選抜（社会人・帰国生徒・学士・短期大学士・留学生）	35,000円
編入学選抜	

※一旦納入された入学検定料は、理由の如何にかかわらず返金することはできません。

※入学検定料の他に別途、振込手数料がかかります。

※総合型選抜の入学検定料は複数回受験される場合でも、初回のみの徴収となります。Web 出願サイトで初回にマイページ登録をしたメールアドレスで再出願してください。新規にマイページ登録された場合は無効となります。

※総合型選抜体験会参加者は、総合型選抜Ⅰ～Ⅲ期の入学検定料（35,000円）を免除します。

同時出願・割引制度

「給付特待チャレンジ入試」・「一般選抜」・「大学入学共通テスト利用選抜」では、同時出願が可能となり、検定料も割引になる場合があります。

また、**同時出願では、出願書類（入学志願票、調査書等）は1部のみ提出**で差し支えありません。

入試区分	検定料	同時出願	検定料割引について
給付特待チャレンジ入試（2科目型）	35,000円	40,000円 35,000円+5,000円	・2出願目からの検定料は「5千円」となる 給付特待チャレンジ入試「2科目型」「1科目型」を同時出願の場合は、 3万円割引 され、 検定料は4万円
給付特待チャレンジ入試（1科目型）	35,000円		
一般選抜S日程（2科目型）	35,000円	50,000円 35,000円+5,000円+5,000円+5,000円 (最大5同時出願の場合)	・2出願目からの検定料は「5千円」となる ・左表の中から組み合わせての同時出願が可能 ・最大5同時出願可能 S日程「2科目型」・「1科目型」・A日程「2科目型」・「1科目型」・大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期を同時出願の場合は、共通テスト利用は無料となるため、4出願同時と同じ 9万円割引 され、 検定料は5万円 【割引後の検定料】 ※大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期は無料のため除く 2出願：4万円(3万円割引)、3出願：4万5千円(6万円割引)、4出願：5万円(9万円割引)
一般選抜S日程（1科目型）	35,000円		
一般選抜A日程（2科目型）	35,000円		
一般選抜A日程（1科目型）	35,000円		
大学入学共通テスト利用選抜Ⅰ期	無料		
一般選抜B日程	35,000円	35,000円	B日程・大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期を同時出願の場合は、共通テスト利用は無料となるため、割引はなし
大学入学共通テスト利用選抜Ⅱ期	無料		
一般選抜C日程	35,000円	35,000円	C日程・大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期を同時出願の場合は、共通テスト利用は無料となるため、割引はなし
大学入学共通テスト利用選抜Ⅲ期	無料		

※一般選抜B日程「英語外部試験利用」・総合型選抜Ⅳ期、一般選抜C日程「英語外部試験利用」・総合型Ⅴ期の同時出願は可能です。
ただし、検定料はそれぞれのお支払いとなります。調査書は1通の提出で構いません。

検定料割引制度

十文字学園女子大学及び十文字学園女子大学短期大学部の卒業生の紹介、在学生の家族（姉妹、母等）が受験する場合は検定料の**合計金額からさらに1万5千円を割引する制度**があります。

出願期間前に大学ホームページの「受験生応援サイト（Jumonji Style）」からお申し込みください。

紹介者の確認が取れ次第、ご案内のメールをお送りします。

出願後の申請は無効となります。

入学金優遇制度

本学卒業生または在学生のご家族が入学する場合、入学される方の入学金を10万円割引する制度です。

出願期間前に大学ホームページの「受験生応援サイト（Jumonji Style）」からお申し込みください。

「検定料割引制度」にお申し込みされている方は「入学金優遇制度」の申請は不要です。

入学時学業特待生制度

チャンスは12月と1月の2回!!

- 給付特待チャレンジ入試（2025年12月14日）・一般選抜S日程（2026年1月25日）の受験者全員を対象とし、以下の基準を満たした場合、特待生合格となります。特待生選抜は12月と1月の2回実施します。

席次・得点率		特待内容
①特別特待生 学部席次上位5%以内かつ2科目（2科目型）又は、 1科目（1科目型）の総得点率が80%以上	➡	入学金及び授業料1年次前期分 全額免除
②一般特待生 学部席次上位5%以内かつ2科目（2科目型）又は、 1科目（1科目型）の総得点率が70%以上80%未満	➡	入学金及び授業料1年次前期分 半額免除
③科目特待生 全受験者の1科目席次上位20%以内 2科目（2科目型）は高得点の科目が対象になります。	➡	入学金免除

※①・②と③が重複した場合、①・②の資格が優先されます。

- 以下の組み合わせに限り、検定料無料で、一般選抜S日程を受験いただけます。

選抜方法	対象者	特待生選抜
学校推薦型選抜 I期・II期	合格した方	一般選抜S日程 【2026年1月25日】 検定料無料で受験可能
総合型選抜 I期・II期・III期		
給付特待チャレンジ入試 「2科目型」「1科目型」 【2025年12月14日】	受験した方	

上記の条件に当てはまる方が一般選抜S日程を受験する場合、調査書の提出は不要です。

Web出願登録を行い、入学志願票のみ郵送してください。

※最初に受験した際のWeb出願時に登録したマイページでログインし出願すると検定料が免除となります。

新規でマイページ登録して出願した場合は免除となりませんのでご注意ください。

学費

学部・学科 内 訳			社会情報 デザイン学部	人間生活学部				教育人文学部			
			社会情報 デザイン 学科	健康栄養 学科	食物栄養 学科	食品開発 学科	人間福祉 学科	幼児教育 学科	児童教育 学科	心理学科	文芸文化 学科
学 納 金	入 学 金		250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	授 業 料	前期	375,000	400,000	400,000	400,000	375,000	385,000	385,000	375,000	375,000
		後期	375,000	400,000	400,000	400,000	375,000	385,000	385,000	375,000	375,000
	教育充実費	前期	95,000	120,000	120,000	120,000	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
		後期	255,000	280,000	280,000	280,000	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000
諸 経 費	学友会費（4年分）		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	武蔵野会費		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	同窓会費（終身）		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
	学生教育研究災害傷害・賠償責任保険料※（4年分）		4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660	4,660
入学手続時納入金合計			784,660	834,660	834,660	834,660	784,660	794,660	794,660	784,660	784,660
1 年次後期分			630,000	680,000	680,000	680,000	630,000	640,000	640,000	630,000	630,000
1 年次納入金合計			1,414,660	1,514,660	1,514,660	1,514,660	1,414,660	1,434,660	1,434,660	1,414,660	1,414,660

2 年次納入金	授業料	750,000	800,000	800,000	800,000	750,000	770,000	770,000	750,000	750,000
	教育充実費	510,000	560,000	560,000	560,000	510,000	510,000	510,000	510,000	510,000
3 年次納入金	授業料	750,000	800,000	800,000	800,000	750,000	770,000	770,000	750,000	750,000
	教育充実費	510,000	560,000	560,000	560,000	510,000	510,000	510,000	510,000	510,000
4 年次納入金	授業料	750,000	800,000	800,000	800,000	750,000	770,000	770,000	750,000	750,000
	教育充実費	510,000	560,000	560,000	560,000	510,000	510,000	510,000	510,000	510,000

※学生教育研究災害傷害・賠償責任保険料は、2025年度入学生の実績額です。

(単位：円)

奨学金制度

十文字学園女子大学では、学生の経済的負担を軽減し、大学生活を安心して送るために本学独自の支援制度がある他、学外の奨学金制度等の紹介もしています。

特待生制度

《在学時学業特待生について》

2年次から4年次までに在籍する学生を対象に、前年度の成績をもとに授業料を免除します。選考基準は、既定の単位数及びGPAを上回るもののうち、前年度のGPA順位が同学科・同学年に所属する学生のうち、上位3%以内の学生が対象です。

免除額：10万円(後期授業料より免除)

※ただし、入学時学業特待生が各学年の審査において基準を満たす場合には、20万円を免除します。(後期授業料より免除)

修学支援制度

本学は、高等教育の修学支援新制度の対象校になっています。

2020年4月からはじまった国による修学支援新制度です。授業料・入学金の減免と日本学生支援機構給付奨学金により、意欲ある学生の「学び」を支援します。世帯収入に応じて支援額が決まります。

※令和7年度からの多子世帯の授業料等無償化により、多子世帯（扶養する子の数が3人以上）は授業料減免と入学金減免が拡充されます。(給付奨学金は世帯収入に応じて決定します。)

学内奨学金：十文字奨学金

学業と人物が優れ、かつ経済的な理由で修学が困難な学生に、奨学金の給付を行っています。

基金は、教職員、関連団体及び外部からの寄付をその原資としています。

※給付額、募集人数及び申請時期については、入学後に学内掲示と本学ホームページでお知らせします。

学外奨学金：日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構の規程に基づき、学業に優れた学生で経済的理由により修学が困難な学生に対して貸与されます。

高校在学中に大学進学時の奨学金を予約する制度もあります。

※高等学校からの「予約採用」の申請については、在学校の先生にご相談ください。

指定学生会館のご案内

十文字学園女子大学では、株式会社共立メンテナンスと提携し、志木・川越・東川口等に「指定学生会館」をご用意しております。

その他、ナジック学生マンション、ユニライフ学生マンションのご案内もしております。

ひとり暮らしを検討されている入学者のライフスタイルに合わせて住まいをご案内します。



奨学金制度及び指定学生会館に関するお問い合わせ先

※入学後、学生支援課へお問い合わせください。

学生支援課 TEL：048-260-7735 (平日 9:00～17:00、土曜 9:00～13:00)

総合型選抜体験会

総合型選抜Ⅰ期の“入試本番と同様”に課題試験・面接を行います。

総合型選抜の評価項目に沿って、多面的・総合的に評価をするため、事前に**総合型選抜を経験することができる**とともに**自身の力を試すことができます!**

参加費は**無料**です。

体験会日程

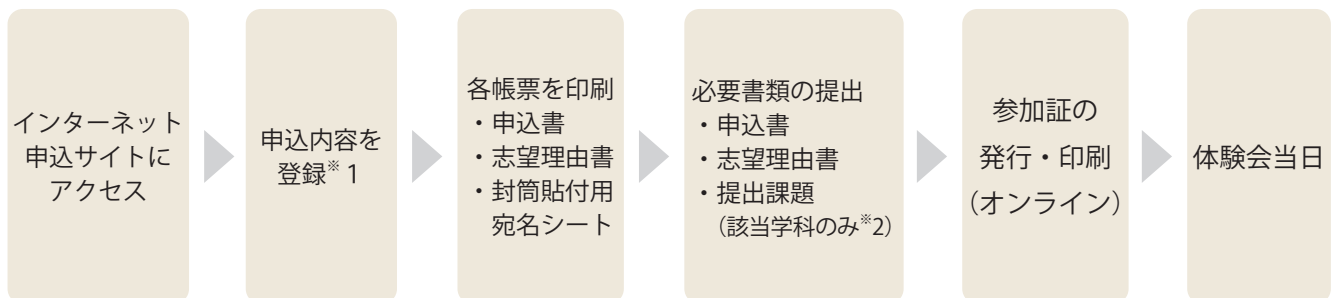
申込期間	2025年7月11日(金)～7月24日(木)	郵送必着
体験会実施日	2025年8月1日(金)	
成績表の通知日	2025年8月8日(金)	郵送通知

申込資格

- ・大学入学資格を有する方
(2026年3月高等学校または中等教育学校卒業見込み・既卒者も含む)
- ・志望学科の教育内容に強い関心をお持ちの方

申込から体験会まで

インターネット申込サイト (<https://e-apply.jp/ds/jumonji-n/>) にて、申込内容を登録し、書類を郵送してください。



※1……申込内容の登録は申込開始日前日(2025年7月10日)10時から申込最終日(2025年7月24日)の14時までです。

※2……該当学科[社会情報デザイン学科・人間福祉学科・児童教育学科・文芸文化学科(探究学習アピール方式)]は課題を同封してください。

注意事項

- ・書類の記入に際しては、黒インクまたは黒ボールペンを使用してください(インクが消せるペンの使用は不可)。
- ・書類・提出課題は市販のプリンター用紙にA4サイズで印刷してください(ページの拡大/縮小は「なし」で印刷)。
- ・学習成績の状況は、「全体の学習成績の状況」と「学年・期」を以下の通りとしてください。
【3学期制】2学年3学期 【2学期制】2学年後期
- ・申込書類は、折り曲げずに市販の角2サイズ封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼付け、郵便局にて「特定記録・速達」で郵送してください。
申込期間内であれば、本学入試課窓口を持参のうえ提出することも可能です。
- ・参加証はオンラインによる発行です。大学が、申込書類を確認・受理した後に申込時に登録したメールアドレスに参加証を通知します。郵送での発行は行いません。
※メールアドレスの入力間違いにご注意ください。

実施内容

総合型選抜は、以下のA～Cの3つの方式にて、実施します。※各学科の方式の詳細は15～19ページにてご確認ください。

A：探究学習アピール方式 **B**：まなび活動方式 **C**：アドミッション・オフィス方式

学科（コース）	方式	評価項目（それぞれの課題＋個別面接＋志望理由書）
■社会情報デザイン学科	A 探究学習アピール方式	高校での「探究学習活動」の成果
	B まなび活動方式	①②③のいずれか ①オープンキャンパス体験講座への参加（体験講座型シートの提出） ②資格（資格取得実績シートの提出） ③事前レポート課題 ※テーマは15ページ参照
■健康栄養学科	B まなび活動方式	自己アピールのプレゼンテーション
	C アドミッション・オフィス方式	小論文（60分・720字以上800字以内） ※課題は16ページ参照
■食物栄養学科	C アドミッション・オフィス方式	小論文（60分・720字以上800字以内）
■食品開発学科	C アドミッション・オフィス方式	小論文（60分・720字以上800字以内）
■人間福祉学科 社会福祉・保育コース 社会福祉・介護福祉コース	B まなび活動方式	①②のいずれか ①オープンキャンパス体験講座への参加（体験講座型シートの提出） ②事前レポート課題 ※テーマは17ページ参照
	C アドミッション・オフィス方式	作文（60分・800字以内）
■幼児教育学科	C アドミッション・オフィス方式	作文（60分・800字以内）
	B まなび活動方式	①②のいずれか ①オープンキャンパス体験講座への参加（体験講座型シートの提出） ②活動アピール（活動アピール型シートの提出）
■児童教育学科	C アドミッション・オフィス方式	映像視聴（20分）後に内容に関する小論文（60分・800字以内）
■心理学科	A 探究学習アピール方式	高校での「探究学習活動」の成果
■文芸文化学科	C アドミッション・オフィス方式	小論文（60分・720字以上800字以内）
	A 探究学習アピール方式	高校での「探究学習活動」の成果

体験会後の流れ

体験会後に個人成績表を通知します。個人成績表には、項目ごとの評価及び3段階による総合評価を記載します。

総合評価が合格基準に

達している

本学の「総合型選抜Ⅰ期」に総合型選抜体験会の成績を利用して出願することができます（総合型選抜Ⅰ期に出願の時点で専願となります）。14ページ下段を参照ください。
総合型選抜に出願の際は別冊「学生募集要項」をご確認ください。

やや達していない
達していない

総合型選抜本番に向けた小論文や面接等の課題試験対策「サマースクール」に参加し、弱点を克服しましょう（参加費無料）。サマースクールで自信をつけて、総合型選抜に臨んでください。
※サマースクールへの参加は必須ではありません。

高校三年生対象

サマースクール

総合型選抜体験会の参加者全員が参加できます!!

参加必須ではありませんが、参加者は総合型選抜本番に向けた準備ができ、苦手克服にも繋がります!

※総合型選抜体験会に参加できない方のサマースクールへの参加も歓迎です!

参加費
無料

8/21^木

サマースクールでは、総合型選抜本番に向けて、小論文・作文の書き方や面接の所作等の基礎を学ぶことができる対策講座を開講します。夏休み中に自分の弱点を見つけ対策しておきましょう!

他にもオープンキャンパスとは一味違う学科イベントも実施します。さらに学科の理解を深められるとともに、教員や先輩、同じ入学希望の高校生と交流ができるチャンスです!

詳細は、総合型選抜体験会の個人成績表を送付する際にサマースクールの案内を同封しますので、そちらでご確認ください。

総合型選抜体験会に参加できない方は、本学の「受験生応援サイト」にてサマースクールの案内を行います。ご確認ください。

過去のサマースクールの様子



本番までにどのように練習していけばいいのかわかりました。

文芸文化学科参加者

先輩からのお話がとても参考になり“頑張ろう”という気持ちになりました。

食物栄養学科参加者

自分の中で曖昧だったことをとてもわかりやすく教えてもらえました。

社会情報デザイン学科参加者

小論文の基礎を改めて学べました。

健康栄養学科参加者

昨年は体験会参加者の半数以上がサマースクールに参加してくれました。皆さまのご参加お待ちしております。
※イベントの内容は変更する場合があります。

出願から入学手続きまでの流れ

【対象入試種別】総合型選抜・学校推薦型選抜・給付特待チャレンジ入試・一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜

Step

1



出願前に……

必ず別冊「学生募集要項」を確認してください。

Step

2



出願

大学ホームページの「受験生応援サイト (Jumonji Style)」から「インターネット出願サイト」へアクセスしてください。



Step

3



出願内容登録

1. 画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
2. 画面の案内に従って出願内容の選択・必要事項を入力してください。
※出願内容登録後に表示される受付番号を必ず控えてください。(受付番号12桁)
3. 検定料のお支払い方法を選択してください。
※お客様番号、確認番号、お支払い期限を必ず控えておいてください。

Step

4



検定料のお支払

コンビニエンスストア、Pay-easy (ペイジー)、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかの方法でお支払いください。

Step

5



各帳票の印刷

検定料の支払い後に受信する「出願サービス 支払完了のご案内」メールに記載されたURLにアクセスして、「志願票」等を印刷してください。

Step

6



必要書類の提出

「志願票」を他の提出書類(調査票等)と併せて郵送してください。
※郵送は特定記録または速達をお願いします。

出願は必要書類を郵送して完了となります。インターネット上で各種登録が済んでいても出願完了ではありませんのでご注意ください。

Step

7



受け取りメールが届く

出願書類が大学へ到着した際に、登録いただいたメールアドレスに通知が届きます。
※書類の不備等があった際はメールアドレスにご連絡します。

Step

8



受験票印刷

受験日3日前から受験票が発行できるようになります。印刷して、試験当日に持参してください。

Step

9



受験

Step

10



合格発表

「受験生応援サイト」から合否確認を行ってください。合格者へ「合格通知書」を郵送します。
※電話による合否結果のお問い合わせにはお答えできません。
※掲示による合否発表は行っていません。

Step

11



入学手続き

後日「入学関係書類」をお送りします。
(入試区分によっては合格通知書と一緒に送りする場合があります。)

※特別選抜・編入学選抜はインターネット出願に対応していません。出願の際は別冊「学生募集要項」にてご確認ください。

総合型選抜

I 期～III 期専願制

IV 期・V 期併願制

Web 出願のみ

総合型選抜は、課題・小論文・作文・発表・志望理由書・調査書・個別面接等から総合的に評価し、可否を判定します。学科及び選抜方法により、評価の対象が異なりますので、以下の「選抜方法」をご確認ください。

オープンキャンパス等で、教員と相談して学科の内容について理解しておくことが望ましいです。参加できない場合はご相談ください。

● 入試日程

	I 期(専願制)	II 期(専願制)	III 期(専願制)	IV 期(併願制)	V 期(併願制)
出願期間	2025年 9月19日(金)～ 10月 3日(金) 郵送必着	2025年11月 1日(土)～ 11月14日(金) 郵送必着	2025年11月25日(火)～ 12月 8日(月) 郵送必着	2026年 2月 2日(月)～ 2月18日(水) 郵送必着	2026年 2月19日(木)～ 3月 5日(木) 郵送必着
試験日	2025年10月12日(日)	2025年11月23日(日)	2025年12月14日(日)	2026年 2月25日(水)	2026年 3月11日(水)
合格発表	2025年11月 1日(土)	2025年12月 1日(月)	2025年12月22日(月)	2026年 3月 3日(火)	2026年 3月16日(月)
入学手続き締切日	2025年12月12日(金)	2025年12月12日(金)	2026年 1月27日(火)	2026年 3月11日(水)	2026年 3月19日(木)

▶総合型選抜に出願後、本学学校推薦型選抜(指定校制)に決まった場合、出願を取り下げることができます。その際、総合型選抜で検定料をお支払い済の場合は、学校推薦型選抜の検定料は徴収いたしません。ただし、総合型選抜体験会に参加し、検定料免除で出願されている場合は入試種別が異なりますので検定料(35,000円)をお支払いいただく必要がございます。

● 選抜方法

A 探究学習アピール方式

高校での「総合的な探究の時間」等において取り組んだ探究学習活動で培った成果を評価・判定します。得られた成果を大学入学後の学びにどのように活かしていくのかについて発表する方式です。

実施学科	選抜方法
■ 社会情報デザイン学科	発表(5分程度) + 個別面接(15分程度) + 調査書 + 志望理由書
■ 心理学科	
■ 文芸文化学科	

◆作成方法……電子媒体で作成してください。(Power PointやPDFデータ等)

◆提出方法……出願時にA4サイズで印刷し、出願書類に同封して提出してください。
発表用の電子媒体の資料はUSBメモリに保存し、試験当日に持参してください。
発表用のデータのファイル名は「受験番号 氏名」としてください。

◆発表方法……本学で準備できるPCはWindows、ケーブルはHDMIです。
Macやタブレットをご使用の方は、ご自身の機材を試験当日に持参してください。
変換コネクタ等が必要な場合もご自身でご準備ください。
Macやタブレットを持参の場合、USBメモリへの保存・持参は必要ありません。

※提出方法や発表方法についてのご質問はオープンキャンパス等で事前に学科教員に相談をしてください。

B まなび活動方式

学科ごとの課題(高校時代の取り組み(ボランティア等の課外活動、部活動や生徒会活動等)やあなたの魅力発信)への取り組み成果を評価・判定します。どのように取り組み、何を学び、どのような力をつけたのかを発表する方式です。

実施学科	選抜方法……学科による以下の課題 + 個別面接(20分程度) + 調査書 + 志望理由書
■ 社会情報デザイン学科	①②③のいずれか(①体験講座型シート、②資格取得実績シート、③事前レポート)
■ 健康栄養学科	自己アピールのプレゼンテーション(資料・作品・道具・機器等の持参可能)
■ 食品開発学科	事前レポート
■ 人間福祉学科	①②のいずれか(①体験講座型シート、②事前レポート)
■ 幼児教育学科	事前レポート
■ 児童教育学科	①②のいずれか(①体験講座型シート、②活動アピール型シート)

◆提出方法……各種シート・事前レポートは、出願書類に同封して提出してください。
健康栄養学科の自己アピールにおいて資料等を使用する場合は、試験当日にご持参ください。

C アドミッション・オフィス方式

小論文・作文・書類審査・面接等を組み合わせて評価・判定します。

実施学科	選抜方法
健康栄養学科	小論文(60分) + 個別面接(15分程度) + 調査書 + 志望理由書
食物栄養学科	小論文(60分) + 個別面接(20分程度) + 調査書 + 志望理由書
食品開発学科	小論文(60分) + 個別面接(20分程度) + 調査書 + 志望理由書
幼児教育学科	作文(60分) + 個別面接(20分程度) + 調査書 + 志望理由書
心理学科	映像視聴(20分) 後に内容に関する小論文(60分) + 個別面接(20分程度) + 調査書 + 志望理由書
文芸文化学科	小論文(60分) + 個別面接(20分程度) + 調査書 + 志望理由書

● 各学科における選抜方式一覧 ※選抜方法が複数ある場合はいずれか1つを選択してください。

学科／期	I 期（専願制）	II 期（専願制）	III 期（専願制）	IV 期（併願制）	V 期（併願制）
社会情報デザイン学科	A B	A B	A B	A B	A B
健康栄養学科	B C	B C	B C	B C	B C
食物栄養学科	C	C	C	C	C
食品開発学科	C	B	B	B	B
人間福祉学科 社会福祉・保育コース 社会福祉・介護福祉コース	B	B	B	B	B
幼児教育学科	C	B C	B C	B C	B C
児童教育学科	B	B	B	B	B
心理学科	C	A C	A	A	A
文芸文化学科	A C	A C	A C	A C	A C

■ 総合型選抜体験会成績利用方式 ※I期のみ出願可

総合型選抜体験会に参加した方で、個人成績表【総合評価】が「合格基準に達している」場合のみ、I期においては、総合型選抜体験会の成績を利用することができます。その場合、各学科とも「個人成績表の結果」・「調査書」にて可否を判定します。

実施学科	選抜方法
全学科	個人成績表、調査書 ※当日の試験はありません

社会情報デザイン学部 社会情報デザイン学科

● 選抜方法

次の「A」または「B」のいずれかの方式を選択してください。

A 探究学習アピール方式

20ページに“ワンポイント アドバイス”を掲載

■ 発表（時間：5分程度）

高等学校で実践した「総合的な探究の時間」等の探究学習の課題をひとつ選び、その概要を発表していただきます。

【資料作成について】

発表資料には、①何を目的として、②どのような取り組みをし、③どのような結果・成果が得られたのか、を書いてください。

※探究学習の内容が社会情報デザイン学科の学習内容と関連している必要はありません。

■ 個別面接（時間：15分程度）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。探究学習活動を通して学んだこと、考えたこと等について説明していただくとともに、発表内容や志望理由書等の出願書類、本学科の学びに関連する知識・興味等について質問します。

B まなび活動方式

■ 課題

以下の①②③の中から選択して受験することができます。

① 体験講座型シート

オープンキャンパスで受講した本学科の体験講座について、「体験講座型シート*1」を出願書類に同封して提出してください。

② 資格取得実績シート

資格取得の実績について、取得資格の証明書（コピー）及び「資格取得実績シート*2」を出願書類に同封して提出してください。

▼対象資格 表記以外の資格についてはオープンキャンパス等でお問い合わせください。

【情報系】

ITパスポート／MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）／日商PC検定3級以上／全商情報処理検定2級以上／情報検定（J検）／CGクリエイター検定 ベーシック以上／Webデザイナー検定 ベーシック以上／マルチメディア検定 ベーシック以上

【ビジネス系】

全商簿記実務検定2級以上／日商簿記検定3級以上／全商商業経済検定2級以上／全商ビジネス文書実務検定2級以上／ビジネス文書検定2級以上

【語学系】

実用英語技能検定（英検）準2級以上／全商英語検定2級以上／日本漢字能力検定2級以上

【教養系】

ニュース時事能力検定2級以上／色彩検定2級以上／実用マナー検定2級以上

③ 事前レポート（文字数：800字程度）

次の2つのテーマから1つを選択して、レポートを作成し、出願書類に同封して提出してください。

テーマ① 関心を持っている社会問題、時事問題について説明した上で、その解決方法等について理由または根拠を示して論じてください。

テーマ② 生成AIの可能性と問題点としてどのようなことが指摘されているか説明した上で、あなたの生成AI活用に対する考えあるいは意見を述べてください。

【レポートの形式】

● レポートの様式は自由です。画像やグラフ等も使用してかまいません。

● PC利用、手書き、どちらでも可能です。

● レポート冒頭に、レポートテーマ・高校名・氏名を明記してください。

● 参考文献・資料のリストをレポート末尾に記してください（ホームページを参考にした場合はサイト名、URLを記してください）。

*1、*2……本学のホームページからダウンロードできます。

オープンキャンパスの「入試・なんでも相談コーナー」や「学生と話せる学科展示コーナー」でもお渡しします。

■ 個別面接（時間：20分程度）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。選択した課題について、どのように取り組み、何を考え、どのような力がついたのか等を説明していただくとともに、課題や志望理由書等の出願書類、本学科の学びに関連する知識・興味等について質問します。

● 評価配分

方式	配分
A	発表 30点／個別面接 50点／志望理由書・調査書 20点
B	課題 30点／個別面接 50点／志望理由書・調査書 20点

人間生活学部 健康栄養学科

● 選抜方法

次の「B」または「C」のいずれかの方式を選択してください。

B まなび活動方式

■ 発表（時間：5分程度）

個別面接のはじめの5分間で発表（自己アピールのプレゼンテーション）をしていただきます。以下のようなまなびや活動において一定の目標を達成したときに、どのように取り組み、何を学び、どのような力をつけたのか等をアピールしてください。

【発表内容の例】

- 部活・クラブ活動などにおける大会・コンクール・展覧会でのパフォーマンスの写真や動画、記録など
- 探究学習に取り組んだ際の活動内容のレポートやプレゼンテーション
- 生徒会などにおいて活動した内容のレポートやプレゼンテーション
- 学校外での諸活動（クラブ、ボランティアなど）の内容のレポートやプレゼンテーション
- 趣味や特技、各種資格取得・検定などで目標を達成した内容の写真や動画、レポート、プレゼンテーション
- 留学や海外経験の内容のレポートやプレゼンテーション

資料や作品、道具、機器（タブレット、パソコン）を持参しても構いませんが、本学で準備することはできません。運搬、管理、セッティングは全て受験者が行うこととします。また、セッティングの時間も発表の時間に含めます。

【参考】過去の発表方法の事例

スケッチブックによる紙芝居、タブレットでの写真紹介、楽器演奏、ダンス等

※発表（自己アピール）の際に、楽器演奏や歌唱、ダンスの実演等、口頭以外の方法によって行う予定（希望）がある場合には、オープンキャンパス等で事前に学科教員に相談をしてください。

■ 個別面接（時間：15分程度）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。プレゼンテーションの内容、志望理由書の内容、健康づくりや食生活への関心等に関する質問をします。

C アドミッション・オフィス方式

■ 小論文（時間：60分、文字数：720字以上800字以内）

小論文の課題は、以下の通りとします。試験実施当日に、あなたの考えを述べていただきます。

「現代の日本における食や健康に関する課題を一つあげ、それについて若い世代がどのようなことに取り組んだらよいか、あなたの考えを述べてください。」

■ 個別面接（時間：15分程度）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。

志望理由書の内容、健康づくりや食生活への関心等に関する質問をします。

● 評価配分

方式	配分
B	発表 30点／個別面接 50点／志望理由書・調査書 20点
C	小論文 30点／個別面接 50点／志望理由書・調査書 20点

人間生活学部 食物栄養学科

● 選抜方法

「C」方式での受験となります。

C アドミッション・オフィス方式

■ 小論文（時間：60分、文字数：720字以上800字以内）

※小論文の課題は、試験実施当日に出題します。

食や栄養、健康に関しての問題文が提示され、その内容を自筆でまとめる課題です。

■ 個別面接（時間：15～20分）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。志望理由書の内容、管理栄養士、栄養を学ぶために必要な計算力や生物や化学の基礎的な知識等に関する質問をします。

● 評価配分

方式	配分
C	小論文 40点／個別面接 50点／志望理由書・調査書 10点

人間生活学部 食品開発学科

● 選抜方法

次の「B」または「C」方式での受験となります。※期によって選抜方式が異なりますのでご注意ください。

B まなび活動方式（※Ⅱ期～Ⅴ期）

■事前レポート（文字数：800字程度）

以下のテーマについて、レポートを作成し、出願書類に同封して、提出してください。

「食に関連する問題提起とその解決案」または「新しい商品（食品）開発の提案」について、あなたの考えを述べていただきます。

【課題の形式】

- レポートの様式は自由です。
- PowerPoint・Word等を利用し、A4サイズで2ページ以内で作成してください。画像やグラフ等も使用してかまいません。
- レポートの冒頭に、課題タイトル（自由）・高校名・氏名を記入してください。
- 参考文献は最後に記してください（ホームページの場合は著者、サイト名、URLを入れてください）。

■個別面接（時間：20分程度）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。個別面接は対面とオンライン※1で選択ができます。事前レポートの内容や志望理由書の内容に関して質問します。

※1……オンライン面接を希望される場合は、ZOOMにて実施します。詳細は別冊「学生募集要項」をご覧ください。

C アドミッション・オフィス方式（※Ⅰ期のみ）

■小論文（時間：60分、文字数：720字以上800字以内）

※小論文の課題は、試験実施当日に出題します。

食に関する課題について、あなたの考えを述べていただきます。

■個別面接（時間：20分程度）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。志望理由書の内容や食の科学を学ぶために必要な生物や化学の基礎的な知識や食等に関する質問をします。

● 評価配分

方式	配分
B	事前レポート 40点／個別面接 40点／志望理由書・調査書 20点
C	小論文 40点／個別面接 40点／志望理由書・調査書 20点

人間生活学部 人間福祉学科

● 選抜方法

「B」方式での受験となります。

B まなび活動方式

■課題

以下の①②の中から選択して受験することができます。

①体験講座型シート

オープンキャンパスで受講した本学科の体験講座について、「体験講座型シート*1」を出願書類に同封して提出してください。

*1……本学のホームページからダウンロードできます。オープンキャンパスの「入試・なんでも相談コーナー」や「学生と話せる学科展示コーナー」でもお渡しします。

②事前レポート（文字数：800字程度）

次の2つの課題から1つを選択して、レポートを作成し、提出してください。

課題A 最近関心のあるニュースやテレビ番組、新聞記事等から、福祉の課題に関するものの概要を記述し、そのことに対してあなたの意見を述べてください。

【参考】今までに提出されたレポート課題

児童虐待について、子どもの貧困とこれから、「心のバリアフリー」の実現、認知症と超高齢社会等

課題B これまでに参加した社会福祉にかかわる体験やボランティア活動体験等があれば、その内容と活動の情報を記述し、福祉に求められていることは何か意見を述べてください。

【課題の形式】

- 課題の作成には、原稿用紙（縦書き・400字詰め）を使用してください。
- 原稿用紙の冒頭に、課題のタイトル・高校名・氏名を記入してください。

■個別面接（時間：20分程度）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。志望理由書の内容や以下の内容等に関して質問します。

- 事前に提出された課題の内容について
- 日本の福祉の現状に関する知識について
- 専門職及び資格について

● 評価配分

方式	配分
B	課題 40点／個別面接 40点／志望理由書・調査書 20点

教育人文学部 幼児教育学科

● 選抜方法

次の「B」または「C」のいずれかの方式を選択してください。 ※1期は、「C方式」のみとなります。

B まなび活動方式

■ 事前レポート（文字数：800字以上1000字以内）

以下のテーマから1つを選択して、レポートを作成し、出願書類に同封して、提出してください。

- 課題A** あなたが今、興味や関心を持っている子どもに関する話題についてその概要を説明し、それについてあなたの考え、意見をまとめてください。
- 課題B** 子ども時代に子どもはどのような経験をするのが望まれるのか例を挙げて説明し、それに対するあなたの意見を述べてください。
- 課題C** あなたの保育所や幼稚園での生活の経験を振り返り、子どもにとっての保育者とはどのような存在なのか、あなたの意見を述べてください。

【課題の形式】

- 課題の作成には、原稿用紙（縦書き・400字詰め）を使用し、手書きで記入してください。
- 原稿用紙の冒頭に課題のタイトル・高校名・氏名を記入してください。

■ 個別面接（時間：20分程度）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。面接で使うメモの持ち込みは可能です。志望理由書の内容や以下の内容等に関して質問します。

- 事前レポートの内容について
- 高校までの学習内容（人文・社会科学及び自然科学）について
- 子どもへの関心について
- ボランティア等の課外活動、部活動や生徒会活動、資格取得等について
- みんなで協力して何かを成し遂げたことや、企画して実践した経験について

C アドミッション・オフィス方式

■ 作文（時間：60分、文字数：800字以内）

※作文の課題は、試験実施当日に出題します。

短い文章や絵本を読んだり、写真等を鑑賞した後、それに関わる考えを書いていただきます。

■ 個別面接（時間：20分程度）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。高校までの学習内容、人文・社会科学及び自然科学、子どもへの関心、志望理由書の内容等に関して質問します。また、みんなで協力して何かを成し遂げたことや、企画して実践した経験について具体的にお話をしてください、それについての質問もします。

● 評価配分

方式	配分
B	事前レポート 30点／個別面接 50点／志望理由書・調査書 20点
C	作文 30点／個別面接 50点／志望理由書・調査書 20点

教育人文学部 児童教育学科

● 選抜方法

「B」方式での受験となります。

B まなび活動方式

■ 課題

以下の①②の中から選択して受験することができます。

① 体験講座型シート

オープンキャンパスで受講した本学科の体験講座を通して学んだことを、大学においてどのように活かしていきたいですか。アドミッション・ポリシーの3つのうち1つを選び、そのことにふれながら「体験講座型シート*1」に記入し、出願書類に同封して提出してください。

② 活動アピール型シート

高校での授業またはそれ以外の活動（学校行事や部活動等）を通して学んだことを、大学においてどのように活かしていきたいですか。アドミッション・ポリシーの3つのうち1つを選び、そのことにふれながら「活動アピール型シート*2」に記入し、出願書類に同封して提出してください。

【アドミッション・ポリシー ～児童教育学科が求める学生像～】

1. 自分のよさを伸ばしたい
2. 子どもの喜びを自分の喜びとする
3. 知的好奇心に富み、学び続ける力を備えている

*1、*2……本学のホームページからダウンロードできます。

オープンキャンパスの「入試・なんでも相談コーナー」や「学生と話せる学科展示コーナー」でもお渡しします。

■ 個別面接（時間：15分程度）

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。1分程度の自己PRをしていただき、その後、提出したシート（「体験講座型シート」または「活動アピール型シート」）の内容について、お話ししていただきます。また、志望理由書の内容や発表内容等に関する質問もします。

● 評価配分

方式	配分
B	課題 40点／個別面接 40点／志望理由書・調査書 20点

教育人文学部 心理学科

● 選抜方法

次の「A」または「C」の方式での受験となります。 ※期によって選抜方式が異なりますのでご注意ください。

A 探究学習アピール方式 (※Ⅱ期～Ⅴ期)

20ページに“ワンポイント アドバイス”を掲載

■発表 (時間：5分程度)

高等学校で実践した「探究学習」で得られた成果を発表していただきます。

【資料作成について】

発表資料には、①何を知りたかったのか、②それを知るために何をしたか、③どのような結果が得られたか、④得られた結果から①について何が分かったか、を書いてください。

※探究学習の内容が心理学と関連している必要はありません。

■個別面接 (時間：15分程度)

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。面接で使うメモの持ち込みは可能です。大学パンフレットを読んで、学科の学びについて自分なりの理解を深めてきてください。また、面接では、探究学習の発表内容、志望理由書の内容、大学での学びと卒業後の進路とのつながり等に関して質問します。

C アドミッション・オフィス方式 (※Ⅰ期～Ⅱ期)

■小論文 (時間：80分(映像20分+小論文作成60分)、文字数：800字以内)

※小論文の課題は、試験実施当日に出題します。

心理学に関する基本的な内容の映像を視聴し、その内容の要約と内容に関する課題について述べていただきます。

映像視聴の際はメモを取ることが可能です。メモ用紙を配布します。

■個別面接 (時間：20分程度 ※発表含む)

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。面接で使うメモ・発表資料の持ち込みは可能です。

大学パンフレットを読んで学科の学びについて自分なりの理解を深めてきてください。

以下の3つの題材から1つ選び、発表してください。(時間：5分)

①今まで読んだ本のなかで、心に残った1冊を選び、本の内容と本から学んだことについての紹介

②心理学科で学びたいテーマについての具体的な説明

③将来つきたい職業について、大学4年間の学びをどう活かしたいか自分なりの説明

その後、志望理由書の内容や発表内容、将来希望する進路と学科での学びとのつながり等に関して質問します。

● 評価配分

方式	配分
A	発表 40点/個別面接 40点/志望理由書・調査書 20点
C	小論文 40点/個別面接 40点/志望理由書・調査書 20点

教育人文学部 文芸文化学科

● 選抜方法

次の「A」または「C」のいずれかの方式を選択してください。

A 探究学習アピール方式

20ページに“ワンポイント アドバイス”を掲載

■発表 (時間：5分程度)

高等学校の「探究学習」で培った成果について発表していただきます。

【資料作成について】

発表資料には、①研究テーマ、②研究概要、③自分の役割、④まとめ(成果・結論等)、⑤自分にとって学びとなったこと、を書いてください。

※探究学習の内容が文学・芸術学と関連している必要はありません。

■個別面接 (時間：15分程度)

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。以下の内容等に関して質問します。

●発表の内容について

●事前に提出された調査書・志望理由書の内容について

●文化や芸術、ことばやコミュニケーション等への関心や、それらについての基礎的な知識について

●学科での学びを卒業後どのように活かしたいか、また、卒業後どのような進路を考えているか、といった将来について

C アドミッション・オフィス方式

■小論文 (時間：60分、文字数：720字以上800字以内)

※小論文の課題は、試験実施当日に出題します。

与えられた文章を読み、あなたの考えを述べていただきます。

■個別面接 (時間：20分程度)

学科教員2名と受験生1名で個別面接を行います。以下の内容等に関して質問します。

●事前に提出された調査書・志望理由書の内容について

●文化や芸術、ことばやコミュニケーション等への関心や、それらについての基礎的な知識について

●学科での学びを卒業後どのように活かしたいか、また、卒業後どのような進路を考えているか、といった将来について

● 評価配分

方式	配分
A	発表 30点/個別面接 40点/志望理由書・調査書 30点
C	小論文 30点/個別面接 40点/志望理由書・調査書 30点

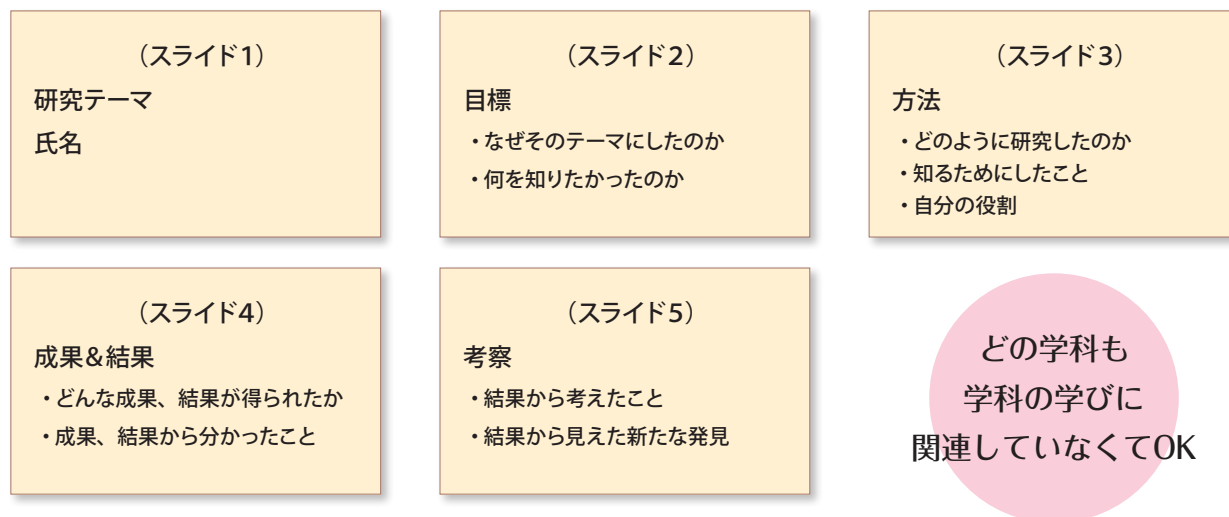
「探究学習アピール方式」におけるワンポイント アドバイス

●発表資料について

社会情報デザイン学科、心理学科、文芸文化学科

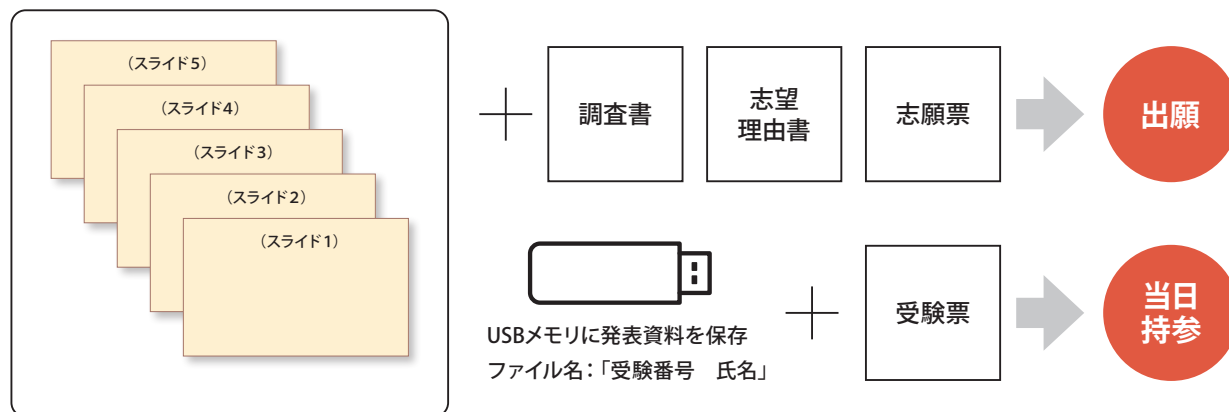
発表資料は、高校の探究学習の時間等で作成した資料の活用が可能です。
ただし、それぞれの学科で“これは記載して資料を作成してほしい”という項目があります。

▼資料作成は以下を参考にしてください！



●提出方法について

発表資料は、出願書類に同封して提出してください。



●発表方法について

- ・本学で準備できるもの
PCはWindows、ケーブルはHDMI



- ・Macやタブレットをご使用の方
ご自身が使用している機材・変換コネクタ等を試験当日に持参してください。
機材持参の場合、USBメモリへの保存・持参は必要ありません。

提出方法や発表方法についての質問は、オープンキャンパス等で事前に各学科の教員へご相談ください。

学校推薦型選抜（指定校制・十文字ファミリー入試）

専願制

Web出願のみ

●入試日程

	指定校Ⅰ期 ・ 十文字ファミリー	指定校Ⅱ期
出願期間	2025年11月1日(土)～11月14日(金) 郵送必着	2025年11月25日(火)～12月8日(月) 郵送必着
試験日	2025年11月23日(日)	2025年12月14日(日)
合格発表	2025年12月1日(月)	2025年12月22日(月)
入学手続き締切日	2025年12月12日(金)	2026年1月27日(火)

●選抜方法

学科／コース	指定校制	十文字ファミリー入試 ※Ⅰ期のみ
	▼総合的に評価・判定します	▼総合的に評価・判定します
全学科	調査書＋志望理由書＋ 集団 面接	調査書＋志望理由書＋ 個別 面接

十文字ファミリー入試とは

十文字ファミリー入試は本学園の「建学の精神・教育理念」に賛同する方で、以下の資格を満たす場合に出願できます。

●出願資格

本学園（十文字学園女子大学・短期大学部、十文字中学・高等学校）を卒業または在学している方の3親等以内の親族であること。

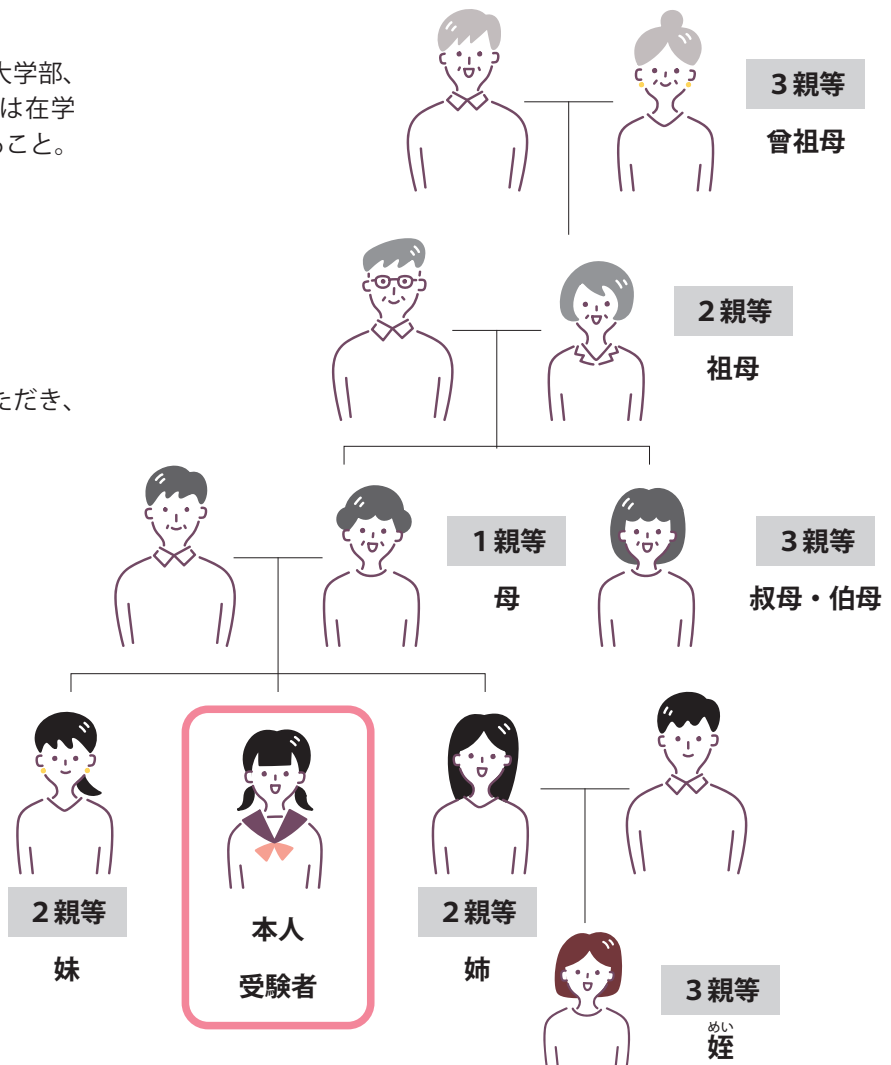
●検定料

全額免除

●入学金

10万円免除

（手続き期間までに一旦全額納入いただき、入学後、返還いたします。）



給付特待チャレンジ入試

併願制

Web出願のみ

●入試日程

出願期間	2025年11月25日(火)～12月8日(月)		郵送必着
試験日	2025年12月14日(日)		
合格発表	2025年12月22日(月)		
入学手続き締切日	一次締切日：2026年1月27日(火)	二次締切日：2026年2月4日(水)	

特待生基準に達しない場合でも、各学科の合格基準に達している場合は、一般合格(減免なし)となります。

※給付特待チャレンジ入試では入金方法を以下の2つから選択できます。

- ①一次締切日までに「入学手続き納付金」を一括納入
- ②一次締切日までに「入学金」のみを納入し、二次締切日までに入学金以外の残額を納入
②の場合、一次締切日までに入学金を納入しない場合、または二次締切日までに残額を納入しない場合は、入学の意思がないものとみなし、入学許可を取り消します。

●選抜方法

給付特待チャレンジ入試では、2科目型と1科目型の2方式があります。方式の選択は、Web出願時に行います。

同一日程において、2科目型と1科目型の同時出願ができます。

学科／コース	試験科目 (◎必須科目・○選択必須 ^{※1} ・◇選択科目)											
	2科目型						1科目型					
	国語	英語	数学	化学	生物	日本史	国語	英語	数学	化学	生物	日本史
■社会情報デザイン学科 ^{※2}	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
■健康栄養学科	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
■食物栄養学科	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	—	◇	◇	◇	—
■食品開発学科	◇	◇	◇	○	○	◇	—	—	—	◇	◇	—
■人間福祉学科 社会福祉・保育コース 社会福祉・介護福祉コース	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
■幼児教育学科	◎	◇	◇	◇	◇	◇	◎	—	—	—	—	—
■児童教育学科	◎	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
■心理学科 ^{※2}	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
■文芸文化学科	◎	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇

※1 食品開発学科の2科目型の選択科目において、化学・生物のどちらか1科目の選択が必要です。

※2 社会情報デザイン学科と心理学科の2科目型の選択科目において、化学・生物の組み合わせは不可です。

●同一日程での同時出願時の注意点

- 第一志望学科は、同一学科のみ選択可能です。第二志望学科は方式により異なっていても差し支えありません。
- 同一学科でも2科目型と1科目型で選択できる科目が異なる場合があります。1科目型で選択できない科目を2科目型で2科目とも選択してしまった場合、同時出願をしていても科目不足となり、1科目型の判定は行われません。
例) 食物栄養学科を希望する場合：2科目型で国語と英語を選択すると、1科目型では国語と英語は選択できないため、判定できない。

※具体的な詳細は一般選抜の例(24ページ)をご参照ください。

●出題範囲・試験時間・配点・解答方式

出題範囲	試験時間	配点	解答方式
国語…現代の国語、言語文化(古文・漢文を除く) 英語…英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅰ(リスニングを除く) 数学…数学Ⅰ、数学A(数学と人間の活動を除く) 化学…化学基礎 生物…生物基礎 日本史…日本史探究	2科目型：120分 1科目型：60分 ※休憩時間なし	各科目100点満点 指定科目数の合計得点で判定 ※平均点により、得点調整をする場合あり	マークシート式

一般選抜

併願制

Web出願のみ

●入試日程

	S日程	A日程	B日程	C日程
出願期間	2025年12月23日(火)～ 2026年 1月19日(月) 郵送必着	2025年12月23日(火)～ 2026年 1月30日(金) 郵送必着	2026年 2月 2日(月)～ 2月18日(水) 郵送必着	2026年 2月19日(木)～ 3月 5日(木) 郵送必着
試験日	2026年 1月25日(日)	2026年 2月 5日(木)	2026年 2月25日(水)	2026年 3月11日(水)
合格発表	2026年 1月30日(金)	2026年 2月12日(木)	2026年 3月 3日(火)	2026年 3月16日(月)
入学手続き締切日	2026年 2月20日(金)	2026年 2月27日(金)	2026年 3月11日(水)	2026年 3月19日(木)

●選抜方法

一般選抜S日程・A日程では、2科目型と1科目型の2方式があります。方式の選択は、Web出願時に行います。同一日程において2科目型と1科目型の同時出願ができます。

学科／コース	試験 名称	試験科目 (◎必須科目・◇選択科目)											
		2科目型						1科目型					
		国語	英語※2	数学	化学	生物	日本史	国語	英語※2	数学	化学	生物	日本史
■社会情報デザイン学科※1	S	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	A	◇	◇	◇	◇	◇	—	◇	◇	◇	◇	◇	—
	B	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
	C	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
■健康栄養学科	S	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	A	◇	◇	◇	◇	◇	—	◇	◇	◇	◇	◇	—
	B	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
	C	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
■食物栄養学科	S	◇	◇	◇	◇	◇	◇	—	—	◇	◇	◇	—
	A	◇	◇	◇	◇	◇	—	—	—	◇	◇	◇	—
	B	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
	C	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
■食品開発学科	S	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	A	◇	◇	◇	◇	◇	—	◇	◇	◇	◇	◇	—
	B	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
	C	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
■人間福祉学科 社会福祉・保育コース 社会福祉・介護福祉コース	S	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	A	◇	◇	◇	◇	◇	—	◇	◇	◇	◇	◇	—
	B	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
	C	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
■幼児教育学科	S	◎	◇	◇	◇	◇	◇	◎	—	—	—	—	—
	A	◎	◇	◇	◇	◇	—	◎	—	—	—	—	—
	B	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
	C	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
■児童教育学科	S	◎	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	A	◎	◇	◇	◇	◇	—	◇	◇	◇	◇	◇	—
	B	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
	C	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
■心理学科※1	S	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	A	◇	◇	◇	◇	◇	—	◇	◇	◇	◇	◇	—
	B	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
	C	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
■文芸文化学科	S	◎	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	A	◎	◇	◇	◇	◇	—	◇	◇	◇	◇	◇	—
	B	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—
	C	—	—	—	—	—	—	◇	◇	—	—	—	—

※1 社会情報デザイン学科と心理学科の2科目型の選択科目において、化学・生物の組み合わせは不可です。

※2 一般選抜A日程・B日程・C日程の【英語】では、外部試験利用が可能です。

A日程は試験会場での「英語」受験が必要ですが、B日程・C日程では試験会場での「英語」の試験はありません。

(詳細は24ページをご確認ください。)

●出題範囲・試験時間・試験会場・配点・解答方式

出題範囲	試験時間	試験会場	配点	解答方式
国語…現代の国語、言語文化 (古文・漢文を除く)	〈S日程・A日程〉 2科目型120分 1科目型60分 ※休憩時間なし	〈S日程〉 新座または巣鴨 ※S日程のみ、出願時に希望する試験会場（巣鴨会場：十文字中学・高等学校）を選択することができます。ただし、収容定員の都合上、ご希望に添えない場合があります。 〈A日程・B日程・C日程〉 新座	各科目100点満点 指定科目数の合計 得点で判定 ※平均点により、得点調整をする場合があります	〈S日程・A日程〉 マークシート式 〈B日程・C日程〉 記述式
英語…英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅰ（リスニングを除く）				
数学…数学Ⅰ、数学A (数学と人間の活動を除く)	〈B日程・C日程〉 1科目60分			
化学…化学基礎				
生物…生物基礎				
日本史…日本史探究				

●同一日程での同時出願時の注意点

- 第一志望学科は、同一学科のみ選択可能です。第二志望学科は方式により異なっても差し支えありません。
- 同一学科でも2科目型と1科目型で選択できる科目が異なる場合があります。1科目型で選択できない科目を2科目型で2科目とも選択してしまった場合、同時出願をしていても科目不足となり、1科目型の判定は行われません。

例) 一般選抜S日程で2科目型と1科目型を同時出願した場合

2科目型 第一志望 食物栄養学科、第二志望 健康栄養学科	国語と化学を選択した場合、2科目型・1科目ともに判定 ポイント 同時出願の場合は、1科目型の選択科目を必ず選択してください。
1科目型 第一志望 食物栄養学科、第二志望 食品開発学科 ※第一志望は同一の必要があります。 ※第二志望は同じでも異なっても、どちらでも可能です。	

- 同一日程で、2科目型と1科目型を同時出願した場合、2科目型の試験室にて受験していただきます。
- 同一日程で、2科目型と1科目型を同時出願した場合、1科目型の得点は、解答した2科目から点数の高い科目を採用します。

●外部試験利用方式(A日程・B日程・C日程)

下表の条件を満たしている場合、出願時に申請することにより、英語外部試験スコアに応じて、得点に換算します。

A日程では、本学の試験科目「英語」の得点と、換算得点のどちらかの高得点を合否判定の対象とします。

B日程・C日程では、換算した得点を合否判定の対象とします。

出願の際に、資格を証明する書類のコピーを提出してください。(カラーまたは白黒どちらでも可)

※取得年度は問いません。

※S日程では、外部試験利用方式「英語」の利用はできません。

※A日程では、本学の試験科目「英語」を試験会場にて必ず受験してください。

※B日程・C日程では、「英語」を選択した場合、外部試験利用方式のみとなります。試験会場での試験はありません。

利用対象試験	換算得点 [※]								提出書類 コピー可
	65	70	75	80	85	90	95	100	
実用英語技能検定(英検) 英検S-CBT	1700	1783	1867	1950	2125	2300	2450	2600	合格証明書、個人成績表、 CSEスコア証明書
TEAP	135	165	195	225	267	309	342	375	成績表
TEAP CBT	235	296	358	420	510	600	700	800	成績表
GTEC CBT	680	764	847	930	1055	1180	1265	1350	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

※換算得点の例：英検のスコアが1800の場合、1783以上1867未満のため、70点に換算されます。

●第二志望制度

- 給付特待チャレンジ入試・一般選抜志願者は、出願時に以下の学科を第二志望に設定することが可能です。
社会情報デザイン学科、健康栄養学科、食品開発学科、人間福祉学科、幼児教育学科、児童教育学科、文芸文化学科
- 検定料の追加はありません。
- 第一志望学科に合格した場合には、第二志望の判定は行いません。
- 第二志望の判定は、第一志望で選択し、判定に採用された科目の素点で判定します。

大学入学共通テスト利用選抜

併願制

Web出願のみ

●入試日程

	I 期	II 期	III 期
出願期間	2025年12月23日(火) ～ 2026年 1月30日(金) 郵送必着 (受験票の発行：一般選抜A日程の 試験日の3日前と同様)	2026年 2月 2日(月) ～ 2月18日(水) 郵送必着 (受験票の発行：一般選抜B日程の 試験日の3日前と同様)	2026年 2月19日(木) ～ 3月 5日(木) 郵送必着 (受験票の発行：一般選抜C日程の 試験日の3日前と同様)
試験日	大学入学共通テスト実施日：2026年 1月17日(土) ～ 1月18日(日) ※本学の個別試験はありません		
合格発表	2026年 2月12日(木)	2026年 3月 3日(火)	2026年 3月16日(月)
入学手続き締切日	2026年 2月27日(金)	2026年 3月11日(水)	2026年 3月19日(木)

●選抜方法

学科／コース	期	試験科目 (◎必須科目・◇選択科目)	合計科目数
■社会情報デザイン学科	I 期・II 期	◇国語・外国語 (英語のみ)・地理歴史・公民・数学・理科・情報から 2教科 2科目	2教科 2科目
	III 期	◇国語・外国語 (英語のみ)・地理歴史・公民・数学・理科・情報から 1教科 1科目	1教科 1科目
■健康栄養学科	I 期・II 期・III 期	◇国語・外国語 (英語のみ)・地理歴史・公民・数学・理科・情報から 2教科 2科目	2教科 2科目
■食物栄養学科	I 期・II 期・III 期	◇国語・外国語 (英語のみ)・数学・理科・情報から 3教科 3科目	3教科 3科目
■食品開発学科	I 期・II 期・III 期	◇国語・外国語 (英語のみ)・数学・理科から 3教科 3科目	
■人間福祉学科 社会福祉・保育コース 社会福祉・介護福祉コース	I 期・II 期・III 期	◇国語・外国語 (英語のみ)・地理歴史・公民・数学・理科・情報から 2教科 2科目	2教科 2科目
■幼児教育学科	I 期・II 期・III 期	◎国語 ◇外国語・地理歴史・公民・数学・理科から 1教科 1科目	2教科 2科目
■児童教育学科	I 期・II 期・III 期	◎国語 ◇外国語・地理歴史・公民・数学・理科から 1教科 1科目	
■心理学科	I 期・II 期・III 期	◎国語 ◎外国語 (英語のみ) ◇地理歴史・公民・数学・理科から 1教科 1科目	3教科 3科目
■文芸文化学科	I 期・II 期	◎国語 ◇外国語 (英語のみ)・地理歴史・公民・数学・理科・情報から 1教科 1科目	2教科 2科目
	III 期	◇国語・外国語 (英語のみ)・地理歴史・公民・数学・理科・情報から 1教科 1科目	1教科 1科目

●出題範囲・配点

- 国語は「近代以降の文章のみ」の得点で判定します。
- 英語はリーディング (100点満点) とリスニング (100点満点) をリーディング (80点満点) とリスニング (20点満点) に換算します。
- 地理歴史、公民、数学はすべての科目を判定対象とします。
- 健康栄養学科・食物栄養学科・食品開発学科の理科は、「物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目」を選択して1教科としてください。または「生物」・「化学」から1科目を選択してください。
- 健康栄養学科・食物栄養学科・食品開発学科以外の学科の理科は、すべての科目を判定対象とします。
- 各科目の配点は100点満点に換算します。

※指定科目数以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に利用します。ただし、指定の必須科目は必ず受験してください。

特別選抜（社会人・帰国生徒・学士・短期大学士・留学生）

併願制

紙出願のみ

●入試日程

	I 期	II 期	III 期
出願期間	2025年11月 1日(土) ～ 11月14日(金) 郵送必着	2025年11月25日(火) ～ 12月 8日(月) 郵送必着	2026年 2月 2日(月) ～ 2月18日(水) 郵送必着
試験日	2025年11月23日(日)	2025年12月14日(日)	2026年 2月25日(水)
合格発表	2025年12月 1日(月)	2025年12月22日(月)	2026年 3月 3日(火)
入学手続き締切日	2025年12月12日(金)	2026年 1月27日(火)	2026年 3月11日(水)

●選抜方法

学科／コース	期	対象者	選抜方法
全学科	Ⅰ期・Ⅱ期	社会人・帰国生徒・ 学士・短期大学士	出願書類、個別面接、小論文(60分・800字)
■社会情報デザイン学科	Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期	留学生	出願書類、個別面接、日本語(60分)
■健康栄養学科	Ⅰ期・Ⅱ期		出願書類、個別面接、小論文(60分・800字)
■食物栄養学科			
■食品開発学科			
■人間福祉学科 社会福祉・保育コース 社会福祉・介護福祉コース	Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期		出願書類、個別面接、小論文(60分・800字)、日本語(60分)
■幼児教育学科	Ⅰ期・Ⅱ期		出願書類、個別面接、小論文(60分・800字)、日本語(60分)
■児童教育学科	Ⅰ期・Ⅱ期		出願書類、個別面接、小論文(60分・800字)
■心理学科	Ⅰ期・Ⅱ期		出願書類、個別面接、小論文(60分・800字)、日本語(60分)
■文芸文化学科	Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期		出願書類、個別面接、日本語(60分)

・選抜方法の「小論文」は、資料または出題テーマに基づいて論述していただきます。

・留学生（編入学）選抜の対象学科は、社会情報デザイン学科・文芸文化学科となり、上記入試日程で行います。

選抜方法は出願書類、面接、小論文（60分）になります。

編入学選抜

併願制

紙出願のみ

●入試日程

	I 期	II 期
出願期間	2025年 9月19日(金) ～10月 3日(金)	2025年11月25日(火) ～12月 8日(月)
試験日	2025年10月12日(日)	2025年12月14日(日)
合格発表	2025年11月 1日(土)	2025年12月22日(月)
入学手続き締切日	2025年12月12日(金)	2026年 1月27日(火)

●選抜方法

学科	期	選抜方法
■社会情報デザイン学科	I 期・II 期	小論文（60分・800字）、面接
■健康栄養学科	I 期・II 期	
■食物栄養学科	I 期・II 期	
■人間福祉学科	I 期・II 期	
■幼児教育学科	I 期・II 期	作文（60分・800字）、面接
■児童教育学科	I 期・II 期	小論文（60分・800字）、面接
■文芸文化学科	I 期・II 期	

※出願期間より前に必ず学科教員による個別相談を受けてください。

※個別相談の際には取得単位数や授業内容がわかる資料（学生便覧・シラバス）をご持参ください。

※学科により、出願資格や卒業後に取得できる資格・免許状も異なります。別冊「学生募集要項」及び個別相談にてご確認ください。

2025年度 入試結果

●学科別入試結果

(人)

学部	学科・コース(定員)	者数	総合型	給付特待 チャレンジ		一般選抜		大学入学 共通テスト
				2科目型	1科目型	2科目型	1科目型	
社会情報デザイン学部	■社会情報デザイン学科 (70名)	志願者数	28	6	11	29	36	21
		受験者数	27	6	11	24	33	21
		合格者数	27	4	10	13	17	19
人間生活学部	■健康栄養学科 (120名)	志願者数	35	2	5	8	14	3
		受験者数	35	1	4	8	13	3
		合格者数	35	1	3	6	6	1
	■食物栄養学科 (120名)	志願者数	43	10	8	45	35	18
		受験者数	43	10	8	34	32	17
		合格者数	43	4	4	16	15	13
	■食品開発学科 (40名)	志願者数	16	6	5	13	12	6
		受験者数	16	5	4	11	10	6
		合格者数	16	5	3	8	5	5
	■人間福祉学科 社会福祉・ 保育コース (50名)	志願者数	12	2	3	7	14	3
		受験者数	12	2	3	6	13	3
		合格者数	12	2	2	4	8	2
	■人間福祉学科 社会福祉・ 介護福祉コース (20名)	志願者数	6	0	0	6	2	1
		受験者数	6	0	0	5	2	1
		合格者数	6	0	0	3	1	0
教育人文学部	■幼児教育学科 (100名)	志願者数	37	4	6	9	18	6
		受験者数	37	4	6	9	17	6
		合格者数	36	4	6	6	9	6
	■児童教育学科 (60名)	志願者数	22	2	6	12	19	17
		受験者数	22	2	6	9	15	17
		合格者数	22	2	5	5	8	16
	■心理学科 (110名)	志願者数	37	9	11	30	45	22
		受験者数	37	8	10	26	39	22
		合格者数	34	5	5	14	29	16
	■文芸文化学科 (70名)	志願者数	25	0	10	16	41	19
		受験者数	24	0	10	15	38	19
		合格者数	24	0	10	8	27	17

※第一志望のみ集計しています。

※合格者に補欠合格者は含みません。

●大学入学共通テスト利用選抜 合格者最高点・最低点

(人)

学部	学科(コース)	Ⅰ期				Ⅱ期			
		最高点	最低点	満点	科目数	最高点	最低点	満点	科目数
社会情報デザイン学部	■社会情報デザイン学科	173.9	100.5	200	2 教科 2 科目	—	—	100	1 教科 1 科目
	■健康栄養学科	—	163.9	300	3 教科 3 科目	—	—	300	3 教科 3 科目
	■食物栄養学科	249.0	149.3	300	3 教科 3 科目	—	184.8	300	3 教科 3 科目
人間生活学部	■食品開発学科	219.4	142.2	300	3 教科 3 科目	—	—	300	3 教科 3 科目
	■人間福祉学科 社会福祉・保育コース	137.9	117.6	200	2 教科 2 科目	—	—	200	2 教科 2 科目
	■人間福祉学科 社会福祉・介護福祉コース	—	—	200	2 教科 2 科目	—	—	200	2 教科 2 科目
	■幼児教育学科	153.1	107.8	200	2 教科 2 科目	—	—	200	2 教科 2 科目
教育人文学部	■児童教育学科	167.0	104.7	200	2 教科 2 科目	—	—	200	2 教科 2 科目
	■心理学科	260.4	156.0	300	3 教科 3 科目	186.7	137.4	300	3 教科 3 科目
	■文芸文化学科	156.6	95.1	200	2 教科 2 科目	—	—	200	2 教科 2 科目

※各科目の得点は、それぞれ100点満点として換算します。

※合格者が1名の場合は、最低点欄に点数を掲載しています。

●都道府県別 志願者・合格者数

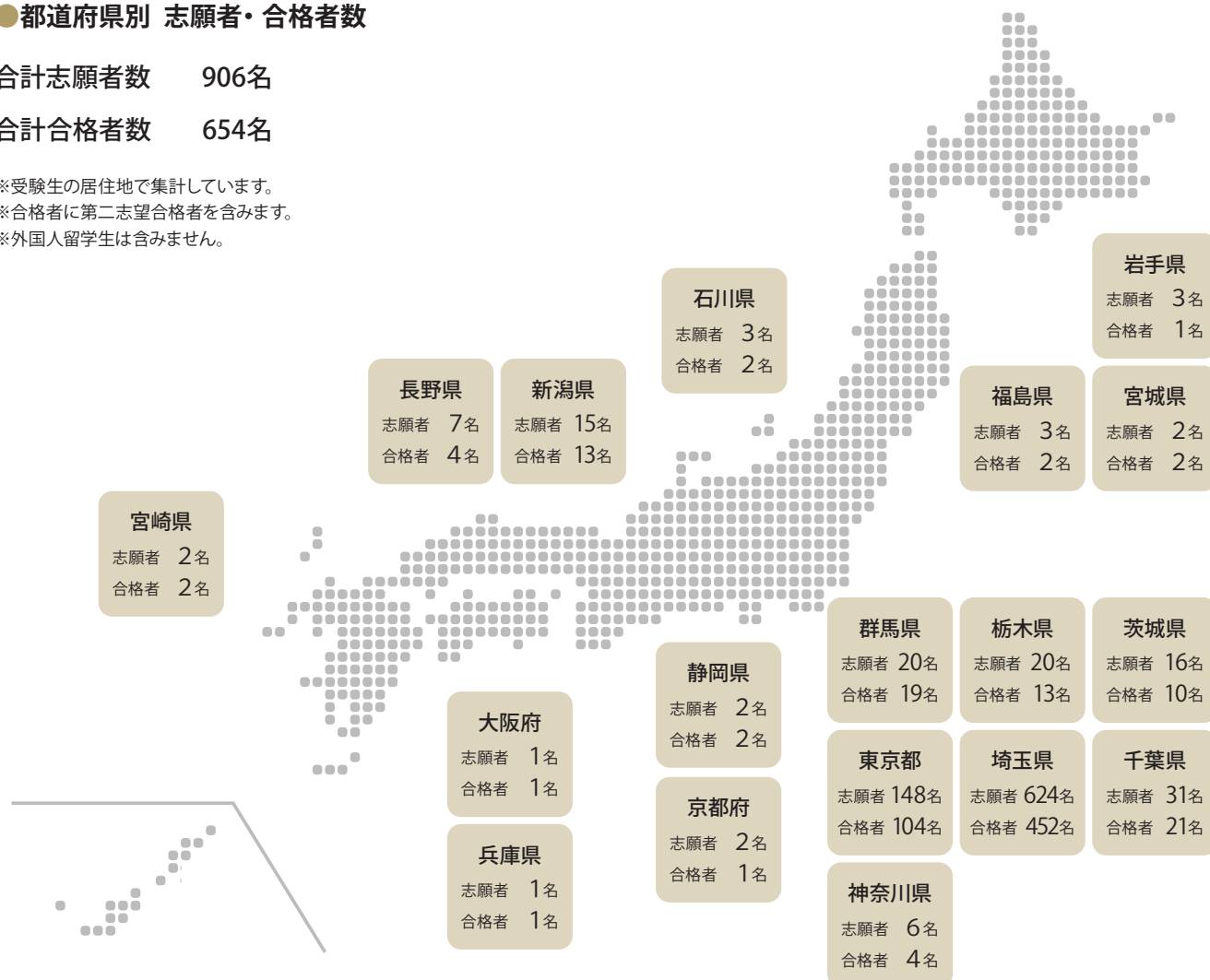
合計志願者数 906名

合計合格者数 654名

※受験生の居住地で集計しています。

※合格者に第二志望合格者を含みます。

※外国人留学生は含みません。





出願に関する

氏名や住所の漢字が、登録の際にエラーになってしまいます。

氏名や住所等の個人情報を入力する際に、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになる場合があります。その場合は、代替の文字を入力してください。
例：高木→高木、山崎→山崎、Ⅲ（ローマ数字）→3

出願登録をした内容に間違いがありました。修正できますか？

コンビニ支払いの場合は、入学検定料を支払う前であれば、既に登録した出願情報を放棄し、もう一度、最初から出願登録を行うことで変更可能です。再度、出願登録を行った際の出願登録番号と支払に必要な番号を使って、出願書類の郵送と入学検定料の支払いを行う必要があります。
入学検定料支払い後の出願情報（選抜区分、学部学科等）の変更は認めません。出願登録時に間違いが無いようご確認ください。

出願の際に提出する志望理由書の清書で間違ってしまった場合、どのようにしたらよいでしょうか？

大学ホームページ「受験生応援サイト」からPDFデータがダウンロードできます。
A4サイズで印刷して記入してください。両面印刷が難しい場合は、片面ずつの印刷で大丈夫です。

複数の選抜方式に出願する場合、調査書は共通必要ですか？

同時出願の場合は、1通で構いません。
単独出願の場合は、出願した入試ごとに必要となります。
Web出願後は、単独出願を同時出願に変更ができませんのでご注意ください。

年内入試で合格し、一般選抜S日程を受験予定です。検定料が無料と書いてありますが、何か手続きは必要ですか？

最初の入試で受験した際に登録したマイページ（メールアドレス）でログイン・出願をすると、検定料が自動的に無料となります。新規で別のマイページを作成した場合は、無料となりませんのでご注意ください。年内入試の合格者は調査書は不要です。入学志願票のみ郵送してください。

出願書類を送付したのに受験票発行通知が届きません。

大学に出願書類が到着後、内容を確認次第受理メールをお送りします。また、受験票発行が可能になるのは試験日の3日前からです。

共通テスト利用選抜で出願しました。大学で試験を受けませんが、受験票は発行（印刷）すべきでしょうか？

合否確認の際に受験番号が必要ですので、必ず発行（印刷）しておいてください。

毎年、特待生合格者は何人ぐらいですか？

過去2年間の合格者数は以下の通りです。

- ・2025年度入試 63名
- ・2024年度入試 81名

※入学時学業特別特待生及び、入学時学業一般特待生、入学時学業科目特待生の合計数です。

他にもいろいろなQ&Aをホームページに掲載しております。詳細はQRコードからご覧ください。



■インターネット出願サイト及び操作に関するお問い合わせ

「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター TEL：0120-202079（出願期間中は24時間対応）

■受験票の内容に関するお問い合わせ

募集入試部 入試課 TEL：048-423-0583（平日9：00～17：00、土曜9：00～13：00）

過去問題

総合型選抜 作文・小論文の課題

（学科ごとに選抜方法が異なります。
詳細は別冊の「2026学生募集要項」でご確認ください。）

※実施の有無により掲載のない学科・日程もあります。
※実施年度により選抜方法が変更となっている場合があります。

社会情報デザイン学部 社会情報デザイン学科

2025年度・2024年度

●事前レポート課題 [文字数:800字程度]

次の3つの課題のうち1つを選択し、レポートを作成してください。

- 課題1 日本ではこれから空き家が増え続けていくことが予測されています。
空き家が増えることで生じてくる問題について簡潔に説明した上で、空き家を有効活用するアイデアを提案してください。
- 課題2 テレビやSNSを見ていてさまざまな広告が流れてきます。あなたにとっての「良い広告」とはどのようなものかについて、事例を用いながら説明してください。
- 課題3 AIとは何か、そしてAIが得意なこと苦手なことは何かを簡潔に説明してください。そのうえで、しばしば言われている「AIが多くの人の仕事を奪う」という見解について、あなたの意見を述べてください。

[課題の形式]

- ・レポートの様式は自由です。画像やグラフなども使用してかまいません。
- ・PC利用、手書き、どちらでも可能です。
- ・レポートの冒頭に、課題タイトル・高校名・氏名を記入してください。
- ・参考文献は最後に記してください（ホームページの場合は著書、サイト名、URLを入れてください）。

人間生活学部 人間福祉学科

2025年度・2024年度

●事前レポート課題 [文字数:800字程度]

次の2つの課題のうち1つを選択し、レポートを作成してください。
社会人の方(高校・短大・大学等を卒業後、1年以上の社会経験を有する方)は、課題Bを選択してください。

- 課題A あなたが今、興味や関心を持っている社会福祉や保育、介護に関する出来事について、その概要を説明し、それについてあなたの意見をまとめてください。
- 課題B あなたの職業経験やボランティア・市民活動等の体験のなかから、現代の福祉についての意見をまとめてください。

[課題の形式]

- ・課題の作成には、原稿用紙(縦書き・400字詰め)を使用してください。
- ・原稿用紙の冒頭に、課題タイトル・高校名・氏名を記入してください。

2025年度

●小論文課題 [時間:60分、文字数:720字以上800字以内]

〈問1〉

植物工場とは、施設内で植物の生育環境(光、温度、湿度、二酸化炭素濃度、養分、水分等)を制御して栽培を行う施設園芸のうち、環境及び生育のモニタリングを基礎として、高度な環境制御と生育予測を行うことにより、野菜等の植物の周年・計画生産が可能な栽培施設をいいます。

植物工場のメリットとデメリットについて、それぞれあなたの考えを述べなさい。

2025年度

●小論文課題 [各問いにつき 時間:60分、文字数:720字以上800字以内]

〈問1〉

日本のカロリーベースの食料自給率は38%(令和4年度)と低く、国の課題の1つとなっており、2030年までに45%とすることを目標としている。日本の食料自給率を向上させるために、私たちは何をすべきか、あなたの考えを述べなさい。

〈問2〉

SDGsの目標の実現について、食や健康の視点から、あなたの考えを述べなさい。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



出典:国際連合広報センター

(https://www.un.org/ja/files/sdg_poster_ja_2021.pdf)

〈問3〉

日ごろ、運動をよく行っている人は、高血圧や糖尿病、肥満、骨粗鬆症などにかかる割合や死亡率が低いこと、メンタルヘルスや生活の質が改善されることが明らかにされている。一方、令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」結果によると、週1日以上運動する人(20歳以上)の割合は、男性が54.9%であるのに対し、女性は49.4%であり、特に20代~50代では男女差が大きい。

女性は男性に比べて運動習慣がある人の割合が低いのはなぜか、また、運動の習慣がない人に対して、どのようにすれば運動習慣を根付かせることができるか、あなたの考えを述べなさい。

出典:令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(スポーツ庁)

2025年度

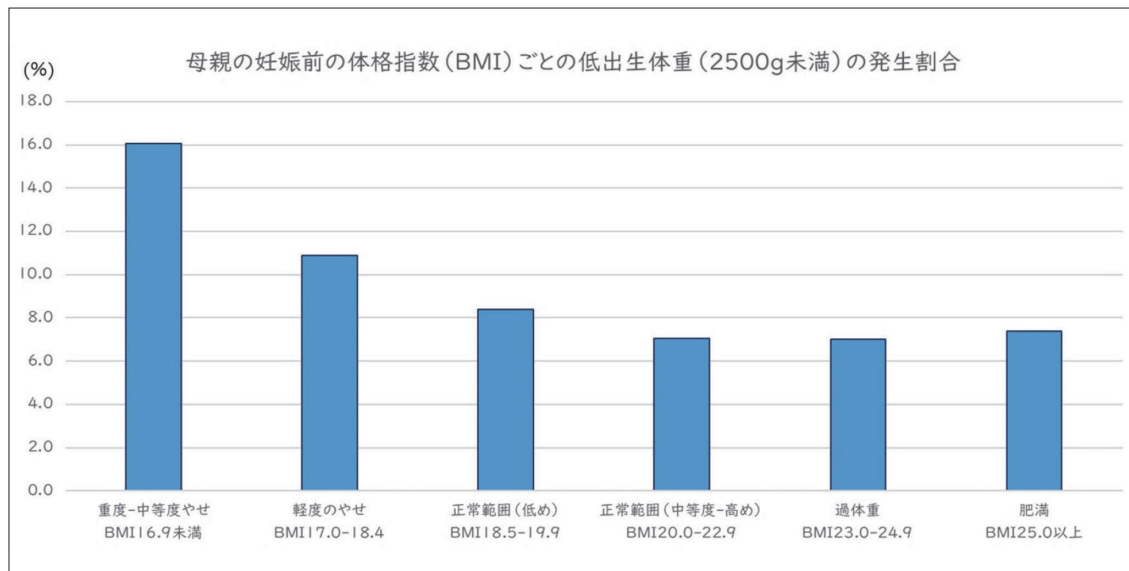
●小論文課題〔時間:60分、文字数:800字以内〕

〈問1〉

低出生体重児(出生体重2,500g未満)が生まれる要因は様々であるが、低出生体重児は標準的な体重で生まれた児に比べ、成人後に生活習慣病を発症するリスクが高いことなどが報告されている。

以下のグラフは、母親の妊娠前の体格指数(BMI*)ごとの低出生体重児の割合を示している。このグラフから読み取れることを説明し、さらにどのような方策が求められるかについて、考えを述べなさい。

* BMI: 体格を表す指標であり、体重(kg)/身長(m)/身長(m)で求める。日本では18.5kg/m²未満が「やせ」、25kg/m²以上が「肥満」と判定される。



出典:環境省. 子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)

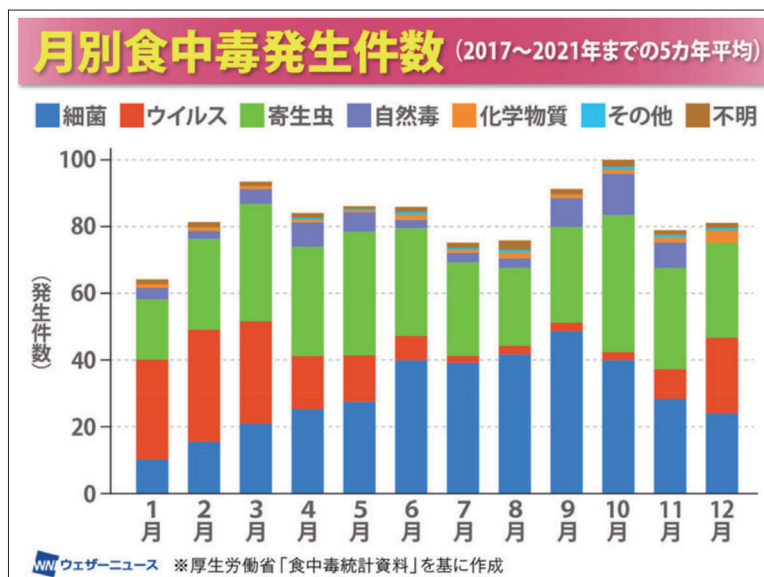
Nakanishi K, et al. Severity of low pre-pregnancy body mass index and perinatal outcomes: The Japan Environment and Children's Study. BMC Pregnancy and Childbirth 2022;22(1):121をもとに作成

2024年度

●小論文課題〔各問いにつき 時間:60分、文字数:800字以内〕

〈問1〉

以下の図は、最近5カ年の日本における月別食中毒発生件数を表したものである。秋ごろの10月に食中毒が最も多い理由として考えられることを述べなさい。



〈問2〉

第3次食育推進基本計画では、「若い世代を中心とした食育の推進」を重点課題の1つに掲げていますが、若い世代(20歳代及び30歳代)は、朝食欠食者が多い等、他の世代より課題が多い現状があります。図は、18歳から39歳の男女2,000人を対象とした朝食摂取状況を調査した結果です。これらの図から、どのようなことが読み取れるか説明してください。そして、朝食を食べるために、どのようなことに気づけたらよいか、あなたの考えを述べなさい。

図1 朝食の摂取状況

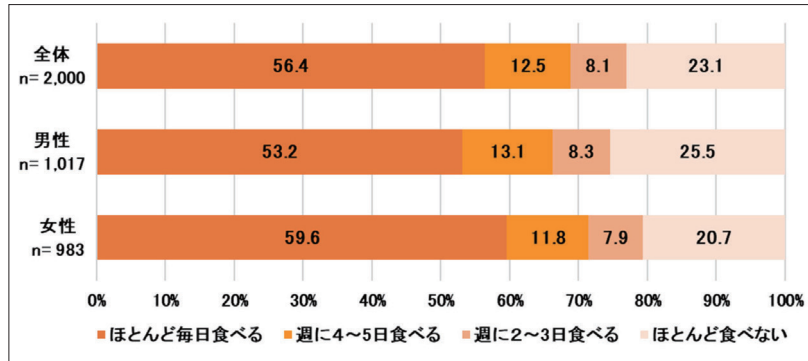
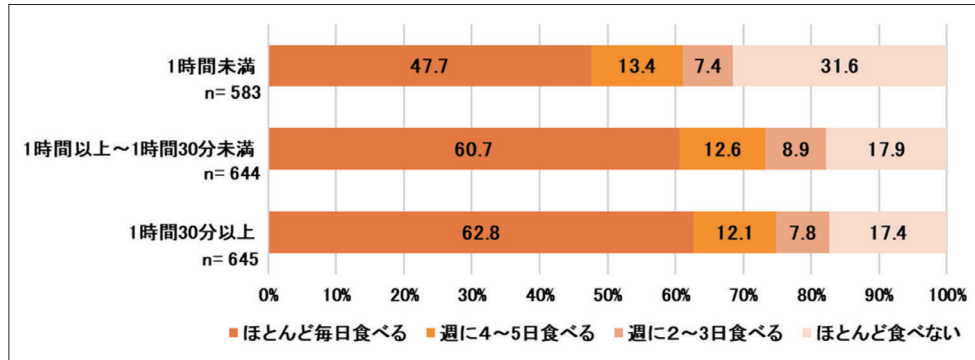


図2 起床から外出までの時間と朝食摂取状況との関連

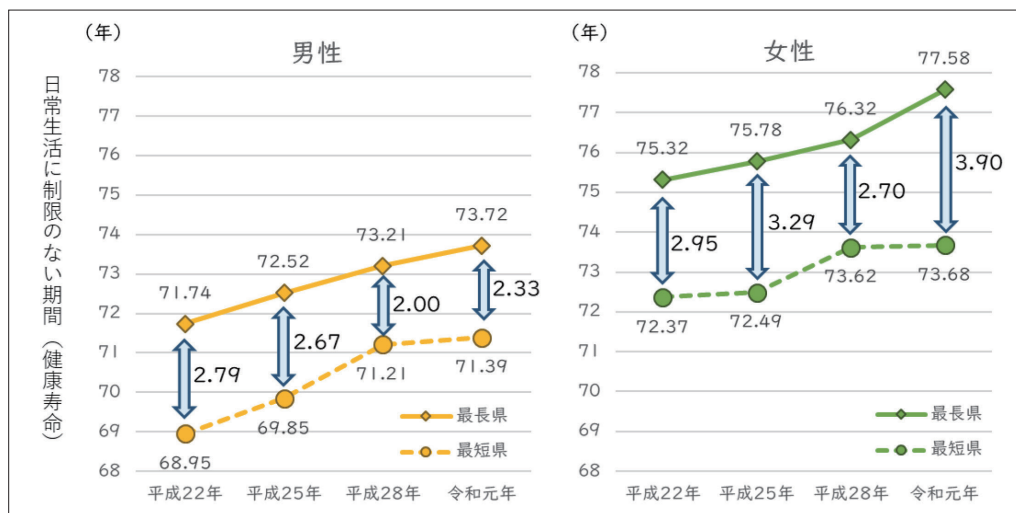


資料：農林水産省 若い世代の食事習慣に関する調査結果(令和元年度11月)

〈問3〉

わが国では平均寿命とともに「健康寿命(日常生活に制限のない期間)」の延伸が重要な課題となっている。健康寿命には、生活習慣(喫煙・飲酒・歩行・食事・睡眠等)、病気の危険因子(肥満、血圧等)、社会経済的要因(所得、教育歴等)が関連していると考えられており、地域格差の縮小に向けた取り組みが求められている。

図は、都道府県別の健康寿命の平均値について、その年の最も長い県(最長県)と最も短い県(最短県)の推移を示したものである。この結果からどのようなことが読み取れるか説明し、今後どのような方策が求められるか、考えを述べなさい。



出典：健康日本21(第二次)最終評価報告書

2025年度

●作文課題〔各問いにつき 時間:60分〕

〈問1〉

右の文章を読んであとの問いに答えてください。

この文書に示されている「さまさまのよいもの」とは
何だと思いますか。あなたの考えを述べて下さい。
(800字以内)

【松岡享子(著) えほんのせかい こどものせかい 文春文庫 二〇一九年 より抜粋】

(前略)
私が図書館で働いていたころ、進くんという六つの男の子が、ときどき図書館へやってきました。本には全然興味のないらしい進くんが、そもそもうして図書館へ来たのか、そのところはわかりませんが、とにかく、やってくると、一応パラパラと雑誌を見、そのあとは、奇声を発したり、机の間を走ったり、騒ぎはじめます。あるとき、それをしかるかわりに、絵本を読んでもやつたところが、それから、来るたびに、読め読めとせがむようになりました。でも、見ていますと、肝心の読んでもらっている本には、それほど興味をもっていないことがわかるのです。それでいて、読み進んで残りのページが少なくなると、「これがすんだら、あれね」と、次の本をさすのです。結局、進くんにとっては、読んでもらうということが、かまってもらえるという意味でうれしかったのでしょう。
子どもたちにとつて、だれかに本を読んでもらうということが、たいへんうれしい経験らしいことは、ほかのいろんな例からもわかります。文庫で、手に負えそうもない本を借りていこうとする子に、「それは、あなたにはちよつとむづかしいかもしれないわよ」というと、「おかあさんに(あるいはおとうさんに)読んでもらうからいいの」といわれることがあります。そういう子どもの声の、ほこらしげな、うれしげな調子からも、それは察せられます。
また、あるおかあさんは、子どもに『クマのプーさん』を読んでもやつていて、おもしろいので思わず笑い出したところ、子どもが、すぐ「おかあさん、いまんとこおもしろいね。もう一ぺん読んで」といったと話していらつしました。こういう瞬間に、子どもは、親とひとつになった気持を感じて、そのために、本というものが、いつそう親しみ深い、忘れ難いものとなるのではないのでしょうか。
読み聞かせは、字の読めない子のために、活字を声にかえてやるだけではないのです。おとうさんやおかあさんが子どもに本を読んでもらうとき、その声を通して、物語といつしよに、さまさまのよいものが、子どもの心に流れこみます。そのよいものが、子どもの本を読むたのしみを、いつそう深く、大きなものにしていくのです。

〈問2〉

右の言葉は、実際の保育園の子どものつぶやきです。

- 1.このつぶやきを読んで、感じたことを書いてください。
- 2.あなた自身が子どもの頃に「いみ わかんねー」と思ったことについて述べて下さい。
(1,2あわせて800字以内)

きゅうしよくのまえには
うた うたうんだよ
いみ わかんねー
ほいくえんの やりかた

【川和保育園(編) 寺田信太郎(執筆) 宮原洋一(執筆・写真) ふつてもはれ
ても 川和保育園・園庭での日々と113の「つぶやき」 新評論 二〇一四年
より抜粋】

2024年度

● 作文課題[各問いにつき 時間:60分、文字数:800字以内]

〈問1〉

右の文章を読み、あなたにとって、データにできない大切なことは
ということなのかを書いてください。

【福原義春(著) 美 「見えないものをみる」ということ PHP新書 二〇一四年
より抜粋】

(前略)
星間の星は見えなくとも、だからといって存在しないわけではなく、確かにそこにある。
経済活動においても、見えない存在があることを、つねに念頭に置いていることが大切ではないだろうか。数字やデータに表れない情報、世界の本質に、私たちはもっと目を向けるべきなのだ。
みんなはデータにできるいくつかの指標を後生大事に、忙しい中それだけを見ている。
しかし世の中にはデータにできない大切なことがいっぱいあるのだ。
(後略)

〈問2〉

右の文章を読んで考えたことを書いてください。

【小川洋子(著) とにかく散歩いたしましろう 文春文庫 二〇一五年 より抜粋】

(後略)
三歳の姪っ子はもちろんまだ字は読めないのだが、本をめくるのは上手である。絵本に限らず『家庭画報』でも『文藝春秋』でも、一ページ一ページ最初から最後まで粘り強くめくることができる。
ところが先日、ただ単にめくっているだけではなく、時折ページのある一点を素早く指差しているのに気づいた。目に見えない誰かに向かって、暗号を送るような仕草だった。注意して観察すると、その一点はすべて、ひらがなの「る」であった。数ある文字の中から、たった一文字「る」だけが、彼女の指先により特別な印を与えられていた。
たぶん「る」の形が彼女の好みに一番フィットしたのではないだろうか。よく見れば、確かに愛らしい形をしている。リボンの端がクルッと丸まったようでもあるし、リスがクルミを抱いているようでもある。彼女の中で「る」が一体どんなものに変身し、どんな物語を作り出しているのか想像もつかないが、きっとそれはふわふわと柔らかく、思わず手をのばして頬ずりせずにはいられない形をしているのだろう。そして彼女と「る」は、大人が誰も邪魔できない、二人だけの親密な関係を築いているのだ。

2025年度

●小論文課題〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕のそれぞれ 問1と問2を合わせて60分

映像視聴の際はメモを取ることが可能です。メモ用紙を配布します。

〔Ⅰ〕

心理学に関連した動画「嫌なことは先延ばす?—「いいえ、先にやっしまおう」のメカニズム_安達未来_高校生のための心理学講座(日本心理学会)_35」を20分間視聴します。

【参考動画URL】

■「嫌なことは先延ばす?—「いいえ、先にやっしまおう」のメカニズム」

<https://youtu.be/ZwTRqerfFew>

* Youtube上の動画であるため、リンクから動画にアクセスできなくなる可能性があります。ご了承ください。

■公益社団法人 日本心理学会のYouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCW54f1grH-gPgBckEJBuY6g>

ご視聴はこちら→



問1 映像の内容に関して、次の①～③のなかから1つを選び、200字以内で書いてください。

- ① 先延ばしとは何かとその特徴を説明したうえで、先延ばしがなぜ起こるのかを説明してください。
- ② 先延ばしにはプラスの面もあると述べられました。意図的な先延ばしが創造性を生むことを示した研究について説明してください。
- ③ 前倒しとは何かとそのメリットを述べたうえで、前倒しするために必要なことを説明してください。

問2 動画の内容と自らの経験をふまえ、課題の先送りと上手につきあう方法について、あなたの考えを600字以内で述べてください。

〔Ⅱ〕

心理学に関連した動画「認知行動療法(十文字学園女子大学)」を20分間視聴します。

【参考動画URL】

■認知行動療法

<https://youtu.be/0sRiZrbw4no>

* Youtube上の動画であるため、リンクから動画にアクセスできなくなる可能性があります。ご了承ください。

ご視聴はこちら→



問1 映像の内容に関して、次の①～③のなかから1つを選び、200字以内で書いてください。

- ① 認知行動モデルとは何か説明してください。そのうえで、「もうすぐ試験がある」という刺激に対して、4つの側面からどのような見立てができるのか、具体的に書いてください。
- ② 自動思考について説明したうえで、認知再構成法とはどのような技法なのかを述べてください。
- ③ 認知再構成法の基本原則について、なぜ「マイナスの認知をプラスに変える」というのは適切ではないと考えられているのか、動画の内容に基づいて説明してください。

問2 動画の内容と自らの経験をふまえ、ある出来事によってネガティブな感情を強く感じている時、その感情を低減させるためにどのような対処をすることがよいと考えられるか、あなたの考えを600字以内で述べてください。

2024年度

●小論文課題〔Ⅰ〕〔Ⅱ〕〔Ⅲ〕のそれぞれ 問1と問2を合わせて60分]

映像視聴の際はメモを取ることが可能です。メモ用紙を配布します。

〔Ⅰ〕

心理学に関連した動画「プレッシャーを感じると失敗するのはなぜ？」 則武 良英_高校生のための心理学講座(日本心理学会)_31」を20分間視聴します。

【参考動画URL】

■「プレッシャーを感じると失敗するのはなぜ？」

<https://youtu.be/MEHVAv4EnKE>

ご視聴はこちら→



* Youtube上の動画であるため、リンクから動画にアクセスできなくなる可能性があります。ご了承ください。

■公益社団法人 日本心理学会のYouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCW54f1grH-gPgBckEJBuy6g>

問1 映像の内容に関して、次の①～③のなかから1つを選び、200字以内で書きなさい。なお、回答に際して、ワーキングメモリはWMと2字で表記してください。

- ① プレッシャーとは何かを説明した上で、プレッシャーのメカニズムについて説明してください。
- ② 実験の結果から、プレッシャーがある場合とない場合では、ワーキングメモリ課題の成績がどのように異なったのかについて説明してください。
- ③ 学業場面においてプレッシャーが大きいと成績が低下しやすい理由について説明してください。

問2 動画の内容と自らの経験をふまえ、プレッシャーのかかる状況への効果的な対策や準備について、あなたの考えを600字以内で述べてください。

〔Ⅱ〕

心理学に関連した動画「記憶研究から学ぶ効果的な学習法_小林 正法_高校生のための心理学講座(日本心理学会)_22」を20分間視聴します。

【参考動画URL】

■「記憶研究から学ぶ効果的な学習法」

<https://youtu.be/rM2gbFE4Bwc>

ご視聴はこちら→



* Youtube上の動画であるため、リンクから動画にアクセスできなくなる可能性があります。ご了承ください。

■公益社団法人 日本心理学会のYouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCW54f1grH-gPgBckEJBuy6g>

問1 映像の内容に関して、次の①～③のなかから1つを選び、200字以内で書きなさい。

- ① 記憶研究のはじまりとして、エビングハウスの実験がとりあげられていました。エビングハウスの実験について、「節約率」を含めて説明してください。
- ② 記憶のシステムとして、情報処理アプローチがとりあげられていました。記憶の情報処理アプローチをもとに、Melton(1963)の「記憶の3段階」について説明してください。
- ③ 記憶を促進する方法について、描画がとりあげられていました、小林(2021)の実験の結果について説明してください。その際、Fernandes(2018)が考える「描画が記憶を促進する要素」についても説明してください。

問2 映像では、記憶を促進するためには、テストや描画など、多少の困難や苦勞を伴うことが効果的であると説明していました。

映像の内容やあなたの経験をふまえて、これまでの勉強において、最も効果的だったと思う記憶の促進方法とその理由について、600字以内で具体的に述べてください。

〔Ⅲ〕

心理学に関連した動画「あなたも、ソジャーを知ってソジトモになろう！」(明石市役所)を20分間視聴します。

【参考動画URL】

■「あなたも、ソジャーを知ってソジトモになろう！」

<https://www.youtube.com/watch?v=2kPYHrk7RmM>

ご視聴はこちら→



* Youtube上の動画であるため、リンクから動画にアクセスできなくなる可能性があります。ご了承ください。

■明石市役所のYouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/@cityakashi>

問1 映像の内容に関して、次の①～③のなかから1つを選び、200字以内で書きなさい。

- ① ソジャーを構成する3つの要素について具体的に説明してください。
- ② 周りにいる性的マイノリティの存在に気づきにくいのはなぜか説明してください。
- ③ カミングアウトとアウトティングについて、その言葉の意味と内容を説明してください。

問2 映像の内容をふまえ、多様なソジャーを互いに尊重できる社会を作るためにあなたが大事だと思うことは何ですか？映像から理解したことやあなたが考えたことを600字以内で述べなさい。

2025年度

●小論文課題 [各問いにつき 時間:60分、文字数:720字以上800字以内]

〈問1〉

[A]・[B]の2つの課題のうち、いずれか1つを選んでください。

[A]

以下はマスクの使用がコミュニケーションに与える影響について述べたものです。あなたはマスクの使用とコミュニケーションの関係についてどのように考えますか。具体例を挙げ、自身の経験を踏まえながら、自由に論じてください。

なお、解答用紙の題名欄には、各自が自由に考えた題名を書いてください。

「(声)笑顔のコミュニケーションまた」 オンライン家庭教師 カセルマン智子(カナダ 45)

4月中旬から約1カ月、カナダ・ウィスラーから東京に里帰りした。現地では3月にマスク着用義務が緩和され、病院や空港以外の街中ではマスクを見なくなった。代わりに増えたのは満面の笑み。自転車に乗ったり広い公園に出かけたり、マスクを外せる条件下で新鮮な空気を求めてきた人々にとって待望だった。

だから、周りに人がいない道でもマスクをする日本の様子には大いにカルチャーショックを受けた。そして、どこことなくコミュニケーションがぎこちない自分に気付いたのだ。

表情から読み取れる情報は計り知れない。東京ではどう相手の気持ちを読み取ればいいのか、私の気持ちも伝わっているのか、と不安になった。人と目が合い口角を上げたものの、マスクではわからないか……と殺伐とした気持ちにもなった。

エチケットとしてのマスクは必要だし、いかにコロナと向き合っていくかは今後の重大な課題だろう。ただ、マスクの安心感と引き換えに表情を忘れ、失っているのではと心配だ。街中で笑顔そのものが見られ、気持ちの通ったコミュニケーションが一日も早く取れるよう切に願う。

出典:『朝日新聞』2022年6月1日朝刊 オビニオン2

[B]

次の文章を参考にして、あなた自身の中にある偏見について、自由に論じてください。また、それにふさわしいタイトルもつけてください。

物心ついてから、私は桃色の洋服を着たことがない。親も着せなかったし、自分でもこの色を選んだことはない。

子供の時分、うちでは桃色を卑しむ空気があった。

客の呉れた日本人形が、桃色の腰巻をしているというだけで、父は不機嫌になった。

「これは取り替えたほうがいいな」

手荒いしぐさで、たたみの上にほうり出した。

祖母や母になると、もっと徹底していた。

「嫌な色だねえ」

「カフェの女給さんみたい」

下品。ふしだら。二人の目線はこう囁き合っていた。

「桃色は敵だ」

というところがあった。

桃色を怖れ憎むことで、嫁姑が団結していた。

物堅い月給取りの家である。

一家の稼ぎ手である父が、「桃色」のほうへ傾くことは、家庭の平和にとって由々しき一大事なのであろう。

女たちが必要以上に桃色を卑し、父のほうも、それに同調する姿勢を見せることで、家長の威厳を保っていた。

おかげで、私は今でも桃色に対してうしろめたい気分になる。長い間、馬鹿にしていた相済みません、というところもある。

戦後、桃色はピンクと名を変えたが、子供の頃にしみついた偏見はまだ抜けないのである。

出典:向田邦子「桃色」

〈問2〉

次の文章を読み、言葉を撤回することについて、あなたの考えを論じてください。また、内容にふさわしい題名もつけてください。

自らの言葉に責任を持つということ

昔から、「吐いた唾は呑めぬ」ということわざがある。一度内から出した言葉はもう取り消すことができない(だから、注意してしゃべるように)という意味だ。しかし、ときに政治家などは、「吐いた唾を呑みます」という意味で、「発言を撤回します」と言い放っている。これは、それこそアリスが迷い込んだような世界でしか通用しないはずのナンセンスな台詞だが、自分の言葉に責任を負わず、有耶無耶にして切り抜けるにためには、むしろそうした言葉もどきの方が好都合なのだ。

もしも、自分の発言がたとえば事実の誤認に基づいていたのであれば、そのままそう言えばよいだけの話だ。「かくかくという私の認識は誤りでした。しかしかの通り訂正します」

と認めることが、人が当然すべき「声振り」である。しかし、「発言を撤回します」という言葉が「口に出した言葉を取り消す」という意味で用いられ、その歪んだ言葉を私たちが拒絶せずに受け入れてしまえるのであれば、人は自分の言葉が意味していたはずの認識、考え、構想といったものの誤りを認めなくてよいことになる。自分が何を言ったかに向き合い、それに対して相応の責任を負う必要がなくなる。「言い方が悪かった」という風に当該の言葉遣いだけを訂正して、後は適当に言葉を濁せば済んでしまう。そしてそうなれば、(中略)相手の言葉を真面目に受け取って、それに応答するという、対話の基礎が壊れてしまうことになる。

これが「鏡の国」や「不思議の国」の話であれば別にいい。本を閉じればその世界は消えてなくなる。問題は、いま私たちはナンセンス文学を愉しんでいるのではなく、自分たちが暮らしている現実の社会で、この種の状況にたびたび直面しているということだ。しかも、それは往々にして、言葉が最も重視されるべき場で起こっている状況なのである。

出典:古田徹也(2023)「いつもの言葉を哲学する」朝日新聞出版

2024年度

●小論文課題【各問いにつき 時間：60分、文字数：720字以上800字以内】

〈問1〉

次の①と②の新聞記事を読み、あなたの考えを論じてください。

①

岐阜市立中央図書館 開館控え催し 1万冊ドミノ、世界記録挑む7月開催 実行委、不用本提供募る

本を並べてドミノ倒しをする「本deドミノ」。世界記録をめざし、1万冊に挑戦する。

岐阜市の会社社長らが実行委員会を作り、準備してきた。開館6日前の7月12日に2階の図書館の床に本を並べてドミノ倒しをする。現在の世界記録は今年1月に英国で達成された5,318冊だという。当日の様子をビデオに撮ってギネスワールドレコーズジャパンに申請する。

市民に呼びかけて不用になった本を集める。すでに市内の小中学校を通じて家庭にチラシを配り、一般からも広く募集中。立てやすいように厚さ2センチ以上が好ましく、雑誌や非売品などは除く。実行委が回収する。本は使用後に換金して図書館に寄付する計画だ。

ドミノ倒しの本を並べる高校生以上のボランティア50人も募集する。実行委員長のAさんは「著名な建築家の伊東豊雄さんが設計した新しい図書館を、世界に向けて発信したい」と意気込んでいる。

イベントは市や市教育委員会が後援する。市は「本を粗末にすることにならないか」という懸念もあったが、古本を使い、使用後は有効利用するのでよいと判断した」としている。

出典：『朝日新聞』2015年5月25日、朝刊、岐阜全県版

②

声)図書館で「本のドミノ倒し」とは 地方公務員 B

「岐阜市立中央図書館 開館控え催し」という記事(5月25日地域面)を見ました。不要になった本1万冊を集めてドミノ倒しをして、当日の様子をビデオに撮ってギネスワールドレコーズジャパンに申請するのだそうです。私は大きな違和感を覚えずにはいられません。

図書館は本を大切に、本を読み、本に親しむことを教える役割を担っています。それなのにその場所で、本を単なるモノとして扱うことは適切なのでしょうか。岐阜市側は「古本を使い、使用後は有効利用するのでよいと判断した」といっているようですが、古本だろうと本は本です。そもそも、1万冊もの書籍をわざわざ集めて、古本屋などに持ち込み換金することが、本にとって「有効利用」といえるのでしょうか。

注目を集めるためだけにしか思えない、このような本をないがしろにする企画を、あたかもいいことであるかのように報じることに疑問を感じます。

出典：『朝日新聞』2015年6月2日、朝刊

〈問2〉

以下の文章を読み、今後、日本でも様々な背景を持つ人が増えていくことをふまえたうえで、自身が考えたことを論じてください。

内容にふさわしい題名もつけてください。

日本語以外の言葉をまったく使えない私は、日本語以外の言語を第一言語とする人が日本語を学習して使ってくれれば、本当に助かります。相手に感謝と敬意を伝えたいとも思います。でも、私と同じような人が似たような状況で「日本語、お上手ですね」と相手に言っているのを聞くと、なんだかいたたまれない気分になります。

もちろん、悪気がないのはわかります。でも、日本語を使いこなせる人同士の間で相手の日本語を褒めることはありませんよね？ということは、相手の日本語を褒めることは、そのつもりがなくても「わざわざ」ほめていることになってしまっているわけで、それは裏返せば、相手を「日本語を使いこなせる人」扱いしていない、ということにほかなりません。相手の日本語に実は少しだけおかしいところがあるとか、本当は日本語なんて話せないはずなのに、といった、相手が日本語を話すことが「自然ではない」というかくれた前提を相手が受け取ってしまうとしたら、それはとても残念なことです。現に、日本語をほめられているうちはまだまだだ、という経験則が日本に来る留学生の間で語られることもあるようです。

そもそも、日本語を話せるからといって、日本語を学んでいる人を指導したり評価したりする必要も義務もありません。単に会話をすればよいし、相手の日本語をうまく理解できないところがあれば、素直にその真意をたずねればよいのです。そうやって相手の経験や考えに真摯に向き合うことが、結果として日本語を学んで使ってくれている人へ感謝と敬意を伝えることになる、私は思います。

出典：森山至貴『あなたを閉じ込める「ずるい言葉」』WAVE 出版2020年、p48

〈問3〉

次の新聞記事を読み、多様な言語による図書・絵本を手に行ける環境づくりについて、あなたの考えを論じてください。

内容にふさわしい題名もつけてください。

2,655冊、ハングルもタイ語も(新宿区立大久保図書館)

明治通りとの交差点を過ぎると、ハングルや「韓国家庭料理」などと書かれた看板が目に入ってきた。コリアンタウンとして知られるエリアに入った。ここに珍しい図書館があると聞き、立ち寄った。

新宿区立大久保図書館の特徴は外国語で書かれた本の蔵書数だ。昨年4月時点の外国語の本は2,655冊に上り、言語数は33を数える。

館長の米田雅朗(まさお)さんは「母語の本がなくて寂しい思いをしないよう、こつこつそろえてきました」と話す。数年前、あるスタッフがネパール人の利用者に言われた言葉を聞き、その思いを強くした。『図書館に自国の本が1冊でもあると、この街に受け入れられていると感じて、うれしい』と話されたんです。

地域の小学校や幼稚園には外国にルーツを持つ子どもが多い。「新しくタイ出身の子が入った」と聞くと、タイ語の本を買い足した。蔵書の言語数はここ数年で10ほど増えた。

最近では正月に合わせ、韓国人の子どもが母国の伝統行事を紹介する本を借りる光景も見られる。「母国の文化や言語に触れられる。ほっとできるような場所になれば」と米田さんは願っている。

出典：『朝日新聞』2022年1月8日、夕刊

過去問題 ～出題意図・模範解答～

社会情報デザイン学部 社会情報デザイン学科

出題年度：2025年度・2024年度 事前レポート課題

【出題意図】

- 課題① 高齢社会を背景に地域の景観や安全を損なう空き家の増加が深刻化している。この空き家問題をまとめ、空き家を有効活用するアイデアを提案できるかを問う。
- 課題② 広告が持つ意味は何か、とりわけマスメディアが広告媒体として圧倒的存在であった頃から、インターネットの登場によって何が変わったかを問う。
- 課題③ AI についての基礎的な知識、AI の登場が雇用にどのような影響を与えるかを問う。

【模範解答】（解答ポイントの解説）

- 課題① 空き家が増加することで生じてくる問題としては地域の景観や安全を損なうことがある。こうした問題を適切に選び説明することが重要である。また、空き家を有効活用するアイデアとしては地方自治体が空き家の売却・賃貸を行うためのサポートを行う等がある。ここではアイデアが現実的なものであるか、独創的なものであるか、空き家問題について適切なデータを適切な仕方では提示できるか、筋道立ててわかりやすく説明できているかがポイントである。
- 課題② 広告が持つ意味は何か、それについてマスメディア、そしてインターネットにおいて広告の意味が変わるか等について適切な情報収集を行い自分の意見を含めた解答ができるかがポイントである。
- 課題③ AI はビッグデータや既存の知識を利用するが故の得意なこと・苦手なこと等がありそれらについて説明できるか、AI が人から雇用を奪うという広く流布している説について根拠を伴った予測と意見を述べるができるかがポイントである。

人間生活学部 人間福祉学科

出題年度：2025年度・2024年度 事前レポート課題

【出題意図】

- ・社会福祉に関することに興味や関心をもっているのかを把握するため
- ・社会福祉に関するできごとを理解し、記述できるかを把握するため
- ・自分自身の意見をもっているのかを把握するため

【模範解答】（解答ポイントの解説）

- 課題 A 貧困や虐待、認知症高齢者の増加、就労課題、介護人材不足等社会福祉・保育・介護の福祉における社会の出来事に関連したキーワードをあげること。またそれらを根拠づけるような情報を収集し、述べられていること、そのことに対する自分の考えを述べられていることができる。
- 課題 B 高校生活での経験に基づき書かれていること、福祉に関連した職業体験や地域でのボランティア活動、市民活動への参加があること、どのような内容に参加したかが書かれていること、それらに関する動向を述べ（情報を得た上で）、社会の現状や今福祉に求められていることを述べるができる。

人間生活学部 食品開発学科

出題年度：2025年度 小論文課題

< 問1 >

【出題意図】

食品開発学科では、多様で良質な食材を持続的に供給するシステムを確立し、そのなかで価値の高い食品を創造していける人材を育成します。食材生産から流通・加工、消費までを一気通貫に見渡して有効なエコシステムを実現するためには、農業の理解は大変重要です。

【模範解答】

メリットとデメリットについて以下のようなことが述べられていると良い。

■メリット

- ・天候等に影響されにくい安定な生産が可能となる（周年栽培が可能となる）
- ・安定した栽培が可能となり、単位面積当たりの収量・収益の増加がみこめる
- ・栽培環境をコントロールできるため確実な収量計算ができる
- ・需要量と供給量のバランスが取れた計画的な生産が可能となる
- ・面積の小さい場所でも立体的な設計等により生産が可能となる（都市型の地産地消で機能している例もある）
- ・病虫害のリスクが下がり農薬を低減できる
- ・生育環境を制御することにより連作障害を防げる
- ・生育環境を制御することにより高機能性野菜等付加価値をつけられる
- ・農業散布にかかる作業費・費用等が大幅に削減でき、人件費も抑えられる
- ・作業をマニュアル化しやすく就業者作業の量的・質的なリスクを低減できる（高齢者等の就業の制約を低減できる）
- ・農業ロボットの導入が容易となる

■デメリット

- ・初期設備投資・保全費が必要となる
- ・環境保全や観光との組み合わせで価値を得ている場合はそれらが一部損なわれる
- ・栽培技術が確立された作物の種類はまだ少ない

出題年度：2025 年度 小論文課題

< 問1>

【出題意図】

今回の小論文課題の出題意図は、健康栄養学科のアドミッション・ポリシーのうち、「健康に関する諸問題を栄養及び運動、食文化の視点から考察し、他者を支援したい」人物であるかどうかを判断することを意図している。また、入学後の学修の基盤として求められる知識や能力として、「栄養士として必要な知識を理解するための基礎的学力を有し、健康づくりに生かす能力を身につけたい意欲がある」「課題や問題点に対する解決策の必要性を判断できる」かどうかを評価することを目的としている。

【評価のポイント】

この小論文課題では、「食料自給率の低下」という、わが国が直面する食に関する課題を理解し、その解決を目指すための自身の考えを論理的かつ説得力をもって述べる事ができているかが評価のポイントとなる。

例として、以下のような内容が含まれていることが望ましい。

- ・地元農産物の消費（地産地消）促進
- ・農業従事者の支援や若者の農業参入の促進、農地の有効活用
- ・消費者教育、食育の推進による商社の意識の改革
- ・輸入に依存している穀物や飼料等の生産促進
- ・日本の伝統的な食事（和食：米飯と魚や野菜、きのこ、海藻を中心とした食事）の継承

< 問2>

【出題意図】

今回の小論文課題の出題意図は、健康栄養学科のアドミッション・ポリシーのうち、「栄養・運動・食文化に強い関心を持ち、健康的な生活を思考・実践したい」人物であるかどうかを判断することを意図している。また、入学後の学修の基盤として求められる知識や能力として、「栄養士として必要な知識を理解するための基礎的学力を有し、健康づくりに生かす能力を身につけたい意欲がある」「課題や問題点に対する解決策の必要性を判断できる」かどうかを評価することを目的としている。

【評価のポイント】

この小論文課題では、持続可能な社会の実現に向けて個人や企業、政府が取り組むべき課題について、広い視点で思考し、自身の考えを明確に表現することができているかが評価のポイントとなる。

例として、以下のような内容が含まれていることが望ましい。

- ・貧困や紛争、気候変動等が原因で食料の供給が不十分な国がある一方で、食料廃棄の問題も深刻である。食料生産システムの構築や技術革新と開発途上国に対する支援、消費者の食品ロス削減に対する意識の向上を通して、目標2「飢餓をゼロに」の実現を目指す。
- ・目標3「すべての人に健康と福祉を」の達成に向け、誰もが適切な医療を受けることができるように、主に開発途上国に対する支援を強化し、医療や衛生状態の不均衡を解消することが重要である。また、不健康な生活習慣や食生活による生活習慣病の増加も深刻であるため、栄養教育を強化しサポートする仕組みの構築が求められる。
- ・個人や社会が資源の保全や食品ロス削減に対する意識を高め、目標12「つくる責任 つかう責任」、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさを守ろう」の実現をめざす。

< 問3>

【出題意図】

今回の小論文課題の出題意図は、健康栄養学科のアドミッション・ポリシーのうち、「健康に関する諸問題を栄養及び運動、食文化の視点から考察し、他者を支援したい」人物であるかどうかを判断することを意図している。また、入学後の学修の基盤として求められる知識や能力として、「資料（文章・データ等）から課題や問題点を考えることができる」「課題や問題点に対する解決策の必要性を判断できる」かどうかを評価することを目的としている。

【評価のポイント】

この小論文課題では、男性と女性の運動習慣の差を客観的に考察し課題を見出し、その課題に対する解決策について自身の考えを明確に表現することができているかが評価のポイントとなる。

例として、以下のような内容が含まれていることが望ましい。

- ・わが国では、女性が家事や育児、介護等に関わる割合が高く運動のための時間を確保することが難しいことが、女性の運動習慣の少なさにつながっていると考えられる。
- ・ジェンダーギャップを是正し、男女間の家事に従事する時間の差が少なくなるよう、国や自治体の企業等への働きかけを強化し、社会や教育における取組を推進する。
- ・運動習慣を付けさせるためのアプローチとして、軽度または短時間の運動から目標を設定させ、意欲を徐々に高めさせる。
- ・行政によるイベント開催等を通して、運動を始めるきっかけを提供する。
- ・誰もが気軽に運動を実践しやすい場を設けることにより、継続して取り組む意欲を高める。

小論文課題

【出題意図】 ※全ての問題において共通です。

食・栄養・健康に関する実態や課題について、図表から情報を読み取り、自分の意見を述べる形式を基本としています。

◆求められる力◆

- ・グラフや表等の数値データを適切に読み解く（要点に沿って具体的な数値を示す）
- ・指定された字数で話の流れを作って、時間内に記述する（指定された文字数の9割以上が目安）
- ・論理的で首尾一貫した文章を書く（問題文の指示に従い、読み取った事実の記述とそれに対する自身の考えを基本に論理展開する。また、適切な表現、言葉遣い、文章構成を意識する）
- ・適切な表題をつける

出題年度：2025 年度

【模範解答】（解答のポイント）

< 問1>

1. グラフから読み取れること（母親の体格と低出生体重児の関係）

妊娠前のBMIが低いほど低出生体重児の割合が高く、特に「やせ」の度合いが強いほどリスクが増加する。これは栄養不足やホルモンバランスが影響していると考えられる。

2. 若年層への健康教育の重要性

「やせ＝美しい」という価値観の広がりが無理なダイエットを助長していることから、学校教育や食育を通じてBMIと健康の関係を学ぶ機会を増やすことが必要と考えられる。SNSやメディアを活用した情報発信も有効である。

3. 妊娠を希望する女性・パートナーへの支援

健康的な体づくりを促進するため、専門家のアドバイスを受ける機会を増やすことが重要である。企業の健康診断に栄養相談を導入したり、自治体の健康相談窓口を充実させたりすることが有効と考えられる。

4. 社会全体での支援体制の構築

妊娠や出産は個人の問題ではなく、社会全体で支えるべき課題。夫婦で協力しながら健康管理を行うための知識を広め、社会の仕組みを整えることが求められる。

出題年度：2024年度

【模範解答】（解答のポイント）

<問1>

1. グラフから読み取れること（食中毒の発生状況）

食中毒の発生件数は月によって変動し、10月が約100件と最も多いことがわかる。

2. 細菌による食中毒の影響

夏場ほどではないが、秋はまだ高温多湿の日があり、細菌が増えやすい環境が続く。さらに、運動会や遠足等屋外で弁当を食べる機会が増え、適切な保存がされないとリスクが高まる。作り置きや鍋料理等も適切な管理が必要である。

3. 寄生虫・自然毒の影響

秋はサバやサケ等の魚を生食する機会が増え、アニサキスによる食中毒が発生しやすい。また、キノコ狩りや山菜採りのシーズンで、毒キノコや有害な野草の誤食事故も増加すると考えられる。

4. 予防策の重要性

食品の適切な保存・加熱、手洗いの徹底等基本的な衛生管理が必要である。寄生虫や自然毒のリスクを減らすため、正しい知識を身につけることも重要である。

<問2>

1. グラフから読み取れること（若い世代の朝食欠食の実態）

18～39歳の約2割が朝食を「ほとんど食べない」と回答。特に男性の欠食率（25.5%）が女性（20.7%）より高い。また、起床から外出までの時間が短い人ほど朝食をとらない傾向がある。特に「1時間未満」の場合、31.6%が朝食を欠食していることがわかる。

2. 朝食をとるための工夫（生活スタイルに合わせた対応）

・起床時間を早める：朝食の時間を確保しやすくする。

・手軽な朝食の準備：前日に用意しておく、持ち運びしやすい食品（おにぎり・バナナ等）を活用し、栄養バランスを意識しながら食べる。

3. 食習慣の定着と教育の重要性

子どもの頃からの習慣づけや、学校・職場での食育を通じて朝食の重要性を学ぶことが、長期的な改善につながる。

このような知識の提供や食習慣、食環境づくりに管理栄養士は貢献できる。

<問3>

1. グラフから読み取れること（健康寿命の現状と地域格差）

健康寿命は全国的に伸びているが、最長県と最短県の差は男性2.33歳、女性3.9歳と依然として大きいことがわかる。

2. 健康寿命の地域差の要因

・生活習慣の違い：食塩摂取量の違い、喫煙率、運動習慣の有無等が影響すると考えられる。

・環境要因：雪国では冬季の運動不足、車社会の地域では歩行不足になりがちといった要因が考えられる。

・医療や健康情報へのアクセス：医療機関が少ない地域では健康管理が難しいと推察される。

3. 健康寿命を延ばすための対策

・食生活改善：減塩を意識したメニューの普及、学校や職場で健康教育を推進する。

・運動促進：猛暑の日や雪の日でも安全に運動のできる屋内施設の整備や、地域で気軽に参加できる健康イベントを開催する。

・禁煙対策：喫煙率の高い地域では禁煙支援や公共の禁煙エリア拡大を推進する。

4. 地域ごとの課題に応じた対策の重要性

各地域の特性に合わせた健康施策を進め、全国的な健康寿命の延伸を目指すべきである。

教育人文学部 幼児教育学科

出題年度：2025年度 作文課題

<問1>

【出題意図】

・文章の内容を読み取る力を見る。

・幼い子どもの行動に対する理解を見る。

・抽象的な事柄について自分自身の経験を踏まえて具体的に考える力を見る。

・自分の考えをまとめ、文章で的確に表現する力を見る。

・原稿用紙の使い方、誤字脱字、語彙力等基本的な知識・技能を見る。

【模範解答】（解答のポイント）

・幼稚園もしくは保育所に通っていたころに大人による読み聞かせの経験がどのようなものであったかを具体的に書く。

・読み聞かせは当時の自分にとってどのような時間だったか、今から振り返るとどのように捉えるか、について書く。

・自分自身の経験を踏まえて「さまざまのよいもの」についての考えを書く。

<問2>

【出題意図】

・幼い子どもの行動やことばに対する理解や共感を見る。

・自分自身の経験を踏まえて具体的に考える力を見る。

・自分の考えをまとめ、文章で的確に表現する力を見る。

・原稿用紙の使い方、誤字脱字、語彙力等基本的な知識・技能を見る。

【模範解答】（解答のポイント）

- ・食事の前に歌を歌うことについての自分の考えを書く。
例）今の自分の生活にはない、幼稚園や保育所時代を振り返った時、家で食事をするときにも歌は歌わない。
確かにこの子どものつぶやきの通りである、等。
- ・園生活について思い出してみると、確かに不思議なルール、他では絶対に見られない、やらないことがたくさんあることについて自分自身の経験を踏まえて書く。

出題年度：2024 年度 作文課題

< 問1 >

【出題意図】

- ・文章の内容を読み取る力を見る。
- ・テーマに沿って論理的に考える力を見る。
- ・抽象的な事柄について自分自身の経験を踏まえて具体的に考える力を見る。
- ・自分の考えをまとめ、文章で的確に表現する力を見る。
- ・原稿用紙の使い方、誤字脱字、語彙力等基本的な知識・技能を見る。

【模範解答】（解答のポイント）

- ・データに出来ない大切なことについて、これまでの自分自身の体験と結びつけて具体的に書く。
例）高校2年生の文化祭でクラスで演劇をやることになり、みんなでオリジナルの脚本を考え、作り上げ、練習を重ね、仲間と何度も気持ちがつかり、折れそうになりながら本番を迎えたこと、そこまでのプロセスでの経験はデータに出来ないが、自分が大きく変わる存在であった、等。

< 問2 >

【出題意図】

- ・文章の内容を読み取る力を見る。
- ・幼い子どもの行動に対する理解を見る。
- ・自分自身の子どもの時代やこれまでの子どもと関わる経験等踏まえて具体的に考える力を見る。
- ・自分の考えをまとめ、文章で的確に表現する力を見る。
- ・原稿用紙の使い方、誤字脱字、語彙力等基本的な知識・技能を見る。

【模範解答】（解答のポイント）

- ・大人にとっては思いがけないような行動でも、幼い子どもにとって充分に意味を持っていることを考えられる、等。
- ・幼いころの自分自身の行動を振り返ったり、周囲の子どもについて考えてみると、確かに（作文課題に示されたような）時間や関係が存在していたこと、それについて具体的に書く。

教育人文学部 心理学科

小論文課題

【出題意図】 ※全ての問題において共通です。

総合型選抜の小論文は、「大学の講義のミニ体験」だと考えてください。

動画（講義の代用）を視聴し、「内容を理解できていること」、「理解した内容を自分の経験や身の回りのことと結びつけて考えられること」、これらが評価対象となります。

▶動画を見ながらメモを取ることができます。試験当日、メモ用紙を配布します。受験生応援サイト（Jumonji Style）には過去問題のメモ用紙を掲載しますので、参考にしてください。

◆みているポイント◆

- ・問1は「理解力」：動画の内容を正しく整理し、記述できるか
問1には「正解」があります。動画の内容を正確に理解し、短くまとめ、伝えることがポイントです。動画の中の重要な部分を200字で正しくまとめてください。
- ・問2は「考える力」：動画をきっかけに、自分の体験や社会の出来事とつなげ、深く考えられるか
問2には「正解」がありません。動画の内容を出発点にし、自分の体験や社会の出来事と結びつけながら、自分なりの考えを深めてください。どんな視点で書くかは自由ですが、動画の内容を土台にして、自分の発想を順序立てて書くことが大切です。

◆書くときの注意点◆

1. 動画内容と関係のある話を書きましょう！：動画と関係の薄い話は、ただの「自分語り」になってしまいます。
2. 自分の体験を書いたら、必ず動画の話に戻りましょう！：体験を熱く語りすぎて、動画内容との関連が尻切れトンボにならないようにしましょう。

以上のことから、問1と問2では、求められている文章が異なります。問1は「正しくまとめる」こと、問2は「広げて考える」こと、これらの違いを意識して、上手に書き分けてください。

出題年度：2025 年度

【模範解答】

< 1 >

問1

- ① 先延ばしとは、後のネガティブな結果を予測しながらも、不必要な遅延を引き起こすことである。先延ばしは、学業や就業でのさまざまな不適応な結果を招く。また、先延ばしをする人の特徴として、時間管理スキルの低さや失敗への恐れ、自尊心の低さ等がある。このような先延ばしは、必要な課題に取り組んで長期的に見て得られる報酬よりも、短期的な欲求や誘惑、衝動を優先させ、必要な課題を後回しにすることにより起こる。（197字）
- ② 大学生を対象に、起業提案書の作成を課した実験で、課題ページでは面白い動画へのリンクの数が操作された。Low条件では1本、Moderate条件では4本、High条件では8本の動画を視聴できた。作成された起業提案書の内容の創造性を条件間で比較した。結果、Moderate条件が最も創造的であった。これより適度な先延ばしが、予想外の発想や新しいアイデアの生産に効果的であることが分かった。（191字）
- ③ 前倒しとは、余分なコストを払ってでも課題に早く取り組み、早めに片づけることである。夏休みの宿題や歯科治療等の課題を前倒しで行うと、

これをしなければならないという認知的負荷は、課題を片付けたあとには持続しない。前倒しするためには、未来のことを考えて、今の欲求を我慢するという長期的な視野を持ち、自分自身をコントロールできる必要がある。(167 字)

問2

【採点ポイント】 ※出題意図にて記載の通り、“正解”はありません。

- ・先送り、先延ばしの理解が正確である。
- ・先送り、先延ばしにまつ自身の経験が論理的に記述できている。動画内容に即した体験を選択し、明瞭かつ必要十分な説明ができています。
- ・動画内容と自身の経験とを関連づけながら、先送り、先延ばしについての発展的な記述には加点する。

< II >

問1

- ① 認知行動モデルとは、刺激に対する反応を、認知、感情、行動、身体の4側面から考える見立ての方法である。たとえば、「もうすぐ試験がある」という刺激に対して、「悪い点をとったらどうしよう」と考えるのは認知である。その結果、不安な気持ちになるのは感情面での反応である。認知や感情の結果、頑張つて勉強するのは行動であり、不安で眠れなくなればこれは身体反応とみなす。これら4側面から反応を見立てる方法である。(196 字)
- ② 自動思考とは頭の中にセリフのように浮かぶ考えのことで、認知のなかでも比較的、変わりやすいと考えられているものである。つぎに、認知再構成法とは、ベックが1970年代に体系化した技法であり、認知行動療法の代表的な技法のひとつになっている。認知再構成法は変化させやすい自動思考を対象に、不安や気分の落ち込み等のネガティブな感情を減らすことを目指している。(175 字)
- ③ 認知再構成法では、不安や気分の落ち込み等のネガティブな感情を減らすことを目指している。その感情を減らすために認知の部分を変えていくとする。そのときに、「その認知(考え方)はよくないので、マイナスの認知をプラスに変えましょう」としても、抵抗をされてしまう可能性がある。そのため認知を変えるよりも、増やすアプローチをしながら認知の柔軟性や多様性を増やしていくと良いと考えられている。(191 字)

問2

【採点ポイント】 ※出題意図にて記載の通り、“正解”はありません。

- ・認知、感情、行動、身体の4側面のうち、いずれかに言及している。
- ・認知再構成法の基本原則に沿った対処を提案している。
- ・具体例として自らの経験を示している。
- ・誤字脱字がなく、句読点を適切に用いている。

出題年度：2024 年度

【模範解答】

< I >

問1

- ① 心理学では、プレッシャーとは、課題遂行者自身の遂行成績の重要性を高める要因であると定義される。人は、強いプレッシャーを感じると、失敗したらどうしよう、等といったネガティブな考えが頭の中に浮かぶ。ベイロックらは、そうしたネガティブな考えが、頭(脳)の中の何らかの働きを阻害した結果、作業の失敗や成績低下が生じる、というメカニズムを明らかにした。(172 字)
- ② プレッシャーなし群では、1回目よりも2回目の方が WM 課題の成績が高く、プレッシャーあり群では、1回目よりも2回目の方が WM 課題の成績が低かった。したがって、プレッシャーがない場合は、1回目と2回目とで WM の能力に差が生じない。むしろ練習効果でより良い成績となった。いっぽう、プレッシャーがかかると2回目であっても、プレッシャーがない1回目と比べて WM の能力が低下することが明らかになった。(192 字)
- ③ 情報を保持しながら処理する WM の能力は、学業においても重要である。しかし、強いプレッシャーを感じると、作業の途中でネガティブ思考が割り込んできて、情報を保持したり処理したりしにくくなる。学業場面においてプレッシャーが大きいと成績が低下しやすいのは、プレッシャーによって生じるネガティブ思考が、学業に重要な WM の能力である情報処理過程を邪魔するためである。(177 字)

問2

【採点ポイント】 ※出題意図にて記載の通り、“正解”はありません。

- ・「動画の内容と自らの経験」の部分で、プレッシャーのメカニズムについて理解していると分かる。
- ・動画の内容として、ネガティブ思考やワーキングメモリ(WM)についての言及がある。
- ・「効果的な対策や準備」として、ネガティブ思考に陥った・陥りそうときに、それを回避する工夫が具体的に書いてある。
- ・もしくはネガティブ思考そのものを回避する方法を提案している。

上記のうち2点以上書いてある場合には加点対象になります。

< II >

問1

- ① エビングハウスは自分を実験参加者とし、記憶と保持時間との関係を調べた。無意味綴り13語からなるリストを196リスト覚え、一定の保持時間をあけ、各リストの全項目を思い出せるまで再学習を行った。その結果、学習から時間が経つほど節約率は低下した。節約率とは、最初の学習に要した時間と比べ、2回目の学習に要する時間を節約した率である。節約率は1日経つと大きく下がるのが特徴である。(186 字)
- ② 記憶の情報処理アプローチとは、ヒトの認知機能のはたらきを、コンピューターの動き方にあてはめる考え方である。Melton(1963)は記憶のシステムについて、「符号化」、「貯蔵または固定」、「検索」の3つをあげた。「符号化」は視覚や聴覚等感覚から入力された情報を記憶システムに取り込む処理、「貯蔵または固定」は符号化された情報を記憶痕跡として保存する段階、「検索」は覚えた情報を思い出すことをさす。(199 字)
- ③ 小林(2021)は、単語の絵を描く描画条件・単語を書きとる筆記条件・単語のイメージを想像する想像条件のいずれかで単語を覚え、思い出す記憶テストを実施した。結果、筆記や想像条件よりも描画条件の記憶成績が最も高く、描画が記憶を促進した。描画が記憶を促進する理由は、手を動かす「運動」、ものごとをより深く観察・処理する「精緻化」、絵が目に入る「視覚」という3つの要素が含まれているからだ、と考えられている。(200 字)

問2

【採点ポイント】 ※出題意図にて記載の通り、“正解”はありません。

- ・映像やこれまでの経験を基に、自分に効果があった記憶の促進方法を具体的に呈示できている。
- ・提案した記憶の促進方法が効果的である理由を説明できている。
- ・その際、「忘却曲線」、「テスト効果」、「描画(運動・精緻化・視覚)」による記憶の促進について書かれていると望ましい。
- ・併せて自分なりに工夫した体験が述べられていると、さらに良い。

< Ⅲ >

問1

- ① 1つ目は、「思う・感じる性」である。たとえば、「自分は男だ」や、「自分は女だ」というように、どのように自分の性を思い、感じているかを指す。2つ目は、「あらわす性」である。たとえば、女性でもズボンを履くことが好き、僕や俺と呼ぶ等、どのように自分の性を表現するかをさす。3つ目は、「好きになる性」である。たとえば、女性が女性、女性が男性を好きになる等、どんな性別の人を好きになるかをさす。(194字)
- ② 性的マイノリティの人は多くの人とは違うソジャーを持っている。これを理由に、昔から差別や偏見を受けており、現在でもそのような状況が続いている。性的マイノリティの人の中には、自己肯定感が低く死にたいと思う人もおり、家庭や社会の中で目立たないように自分のソジャーを隠したり、自分らしさを押し殺しながら生きていたりする。以上より、周りにいる性的マイノリティの存在に気づきにくい状況が生まれている。(192字)
- ③ カミングアウトとは、性的マイノリティの人が自分のソジャーについて誰かに伝えることである。伝えた人は信頼している人に勇気を出して話しているので、話してほしくない相手がいれば話さないように気をつける。アウティングとはカミングアウトした人が「話してもいい」と言った人以外にソジャーを勝手に伝えることである。アウティングをすることは、時として信頼して話してくれた人を苦しめることになる。十分な配慮が必要である。(199字)

問2

【採点ポイント】 ※出題意図にて記載の通り、“正解”はありません。

- ・「おとこらしさ」や「おんならしさ」だけでなく、「その人らしさ」を大切にしている。
- ・性役割を決めつけず、多様なソジャーを尊重するための具体策を提案している。
- ・性的マイノリティの人を差別するような言葉は使わない、「嫌がらせ」や「いじめ」等のハラスメント等をしない、等の態度について生活場面に即した提案をしている。

教育人文学部 文芸文化学科

出題年度：2025 年度 小論文課題

< 問1 >

A

【出題意図】

本問題は、言葉や表情を含むコミュニケーションの在り方について考察し、身近な事柄に対する洞察力や論理的思考力を養うことを目的としている。まず、日常生活の中から論点を見出し、多様な視点で考える力を確認する。特に、マスク文化がもたらす影響を踏まえ、言葉以外の要素が果たす役割を考察することが求められる。また、論理的に思考を整理し、自身の意見を明確に述べる力を評価する。さらに、表情や非言語的コミュニケーションの重要性に気づき、今後の社会における対話のあり方を考える契機とする。最後に、制限字数内で一貫性のある主張を展開し、適切な構成の文章を作成する能力を評価することも目的とされている。

【模範解答（要点）】

題名：「笑顔のコミュニケーションまた」

- ・マスクがコミュニケーションに与える影響は多岐にわたる。
- ・まず、理解の難しさが挙げられる。口の動きが見えないため、特に聴覚障害のある方や、言語に不安のある方にとっては、マスクの着用が理解を難しくする要因となることがある。
- ・また、非言語コミュニケーションの制約も生じる。マスクで口の動きや表情が見えにくくなることで、感情や意図を伝える非言語的な要素が制約され、コミュニケーションが難しくなることがある。
- ・心理的影響も少なくない。相手の表情が見えないことによって安心感や親近感を感じにくくなることが考えられ、対人関係において距離感が生まれる要因となる。
- ・一方で、マスクの着用が一般化する中で、目の表情やジェスチャー、声のトーン等、ことばや口元の動きや表情によらないコミュニケーション手段に対する意識が高まることが考えられる。
- ・このように、マスクはコミュニケーションにさまざまな影響を与える要因となっており、特に対面でのやり取りにおいては、より良いコミュニケーションのために様々な工夫が必要である。

B

【出題意図】

最低限の能力として、文章を正確に読み、その主題を正確に理解することを求める。その上で、問題文の主題を踏まえながら、自分自身のことを論理的に内省、分析、表現する力を考查の対象とする。ただし、様々な価値観を認め合うことが大切であるというような一般論に終始する回答については、正面から問題と向き合えない、あるいは物事を深く考えられない、その能力不足を誤魔化しているとして、評価を下げる。わざわざ「自身のなかにある」と限定しているのは、自分自身を相対化して、深く向き合うことを求めているからである。

社会生活を送る中で、自分自身をしっかり内省する知性を持ち合わせているかどうか問われていると考えてよい。

なお、上記の事がらをクリアした上で、さらにユニークな発想、目が覚めるような指摘があれば、さらなる高評価につながる。思考の柔軟さは大きな評価ポイントである。誤字脱字、文法的な誤りは、言うまでもなく減点の対象となる。

【模範解答（要点）】

題名：「桃色」

- ・育った家庭環境の中で「桃色」に対するネガティブなイメージが植え付けられていたことを、筆者自身が確認している。
- ・同じように、自分自身が知らず知らずのうちに身につけてしまった偏見や価値観を、具体的に挙げてみる。
- ・どのようにして、その偏見を持つようになったのか、振り返ってみる。
- ・あるいは、本文が書かれた時代の感覚と、現代の感覚との違いを考え、現代の自分自身が「桃色」にどのようなイメージを持ち、なぜそう感じる（考える）ようになったのか考察してみる。

< 問2 >

【出題意図】

本問題は、言葉の撤回と責任について論じることで、倫理観や批判的思考力を養うことを目的としている。

まず、言葉に対する責任の重要性を理解し、自らの発言の影響を倫理的な視点から考察する力を評価する。また、他者の言葉の使い方や責任回避の問題点を批判的に捉え、自身の意見を論理的に展開できるかが問われる。さらに、対話の価値を再認識し、社会における言葉の重みについて深く考察できるかが重要である。最後に、論理的かつ説得力のある文章を構築する力を評価し、表現力と構成力の向上を図ることも目的とされている。

【模範解答（要点）】

題名：「言葉の重みを問う―責任と対話の未来」

- ・言葉は他者との関係を築く基盤であり、一度発せられた言葉には責任が伴うべきである。
- ・「発言の撤回」という表現は、自らの発言に対する責任を軽視し、対話の信頼性を損なう行為である。
- ・発言が誤認に基づく場合、事実を訂正し、自らの過ちを認める姿勢こそが責任を果たす行動と言える。
- ・「言葉の撤回」が常態化すれば、他者が発言の真意を理解しようとする努力を無意味にし、対話そのものを破壊する可能性がある。
- ・政治家や公人が言葉の責任を回避することで、社会全体のコミュニケーションの質が低下する恐れがある。
- ・今後の社会では、言葉を単なるツールとして扱うのではなく、互いを尊重し、信頼を築くための手段として再認識することが重要である。

出題年度：2024 年度 小論文課題

< 問1 >

【出題意図】

- ・新聞記事における古書を使ったイベント（ドミノ倒し）の目的と投書の反対記事との両者の記事を読み解き、踏まえながら、単なるイベントの賛否の感想にならずに、自身の意見・主張を筋道立てて論理的に組み立てることができる。
- ・こうした内容に加え、「有形」（書籍）と「無形」（デジタル資料）をはじめ、人類の「知」や「記憶」、本の「所有」と「消費」、図書館における「蔵書群」「コレクション」等、図書に内包された特質そのものを含めて幅広く論じることができる。
- ・制限字数内で一貫性のある主張と適切な構成を持った文章を作成することができる。

【模範解答（要点）】

題名：「有形」の図書から「無形」の電子資料への変化

模範解答の事例として、以下の内容を含めて論じられていることが望ましい。

- ・図書館における本のドミノ倒しのイベント開催について、自身の意見を筋道立てて賛成か反対かが述べられていること。
- ・本を用いたドミノ倒しについて、両者の主張を踏まえながら、その長所と短所が整理されていること。
長所の例：図書館の開館イベントの盛り上げ、図書館への注目、集客、広報に結びつく、不要になった本（古書）を用いる、換金し図書館へ寄付、等。
短所の例：図書館は本を大切に、本に親しむ場所、本は「モノ」ではない、換金が有効活用なのかどうか、注目を集めるだけ、等。
- ・ビブリオバトル等、本を媒介としたイベントの特徴や電子書籍（電子コミック）等、無形のデジタル資料の拡大等を含めて、「有形」としての本に
対す考えが、これまでの経験を踏まえて触れられていること。

< 問2 >

【出題意図】

- 異文化理解力の育成
異なる言語的背景を持つ人々との接触が増える現代社会において、多文化共生に必要な視点を養う。
- 無意識の偏見への気づき
日常的な表現や行動の中に潜む無意識の偏見や差別構造に気づき、改善策を考える契機とする。
- 論理的思考力の促進
提示された文章から論点を抽出し、自身の意見を明確に述べる力を養う。
- 文章構成力の向上
制限字数内で一貫性のある主張と適切な構成を持った文章を作成する能力を評価する。

【模範解答（要点）】

題名：「多様性の時代に求められる言葉のあり方」

- ・日本語以外を第一言語とする人々が増える中、日本語を「褒める」行為の背景には、無意識の偏見や違和感が潜んでいる場合がある。
- ・日本語の習得を褒めることは、相手を評価する意図がなくとも「他者」として扱っていると捉えられるリスクがある。
- ・日本語を使用する人との対話では、相手を一人の対等なコミュニケーションのパートナーとして尊重する姿勢が重要である。
- ・日本語の細かな間違いにこだわらず、内容や意図に注目し、誠実に向き合うことが多文化共生の基盤となる。
- ・言語的背景が異なる人々と接するとき、評価や指導ではなく、自然な会話を通じた理解と感謝が重要である。
- ・この姿勢は多様性を受け入れる社会における新しいコミュニケーションの在り方を示している。

< 問3 >

【出題意図】

- ・新宿区立大久保図書館の事例のように、多様な言語による図書や絵本を手にすることができる環境をつくる意義や意味について、自身の経験も踏まえながら論じることができる。
- ・同館においては、外国語で書かれた「絵本」についての所蔵が多いため、出題文には資料種別の「絵本」を入れた。すなわち、外国にルーツのある子どもたちに対する視点も踏まえながら論じることができる。
- ・提示された文章から論点を抽出し、自身の意見を明確に述べることができる。
- ・制限字数内で一貫性のある主張と適切な構成を持った文章を作成することができる。

【模範解答（要点）】

題名：多言語資料を媒介に、ともに学び、ともに理解しよう

模範解答として、以下の内容を含めて論じられていることが望ましい。

- ・さまざまな国の言語や多様な文化に触れ、これまでの学んだ自分自身の経験が触れていること。
- ・さまざまな国の言語を「読む」ということは、言語を「読む」ことに留まらず、その国の文化や習慣、歴史を理解し共感することにも通じていること。その延長線上には、多様な文化の学びあいが広がることに密接であること。
- ・こうした本に触れることにより、「〇〇人である」という国家の境界線を越えて、私たちはいわゆる「地球市民」であることに自覚的であること。
- ・「図書館に自国の本が1冊でもあると、この街に受け入れられている」というネパール人の利用者の言葉を踏まえ、さまざまな言語の本を図書館が提供していくことの意義（もしくは、地域社会全体が外国にルーツのある人々を受け入れていくことの意義）に触れていること。

十文字学園女子大学



HP <https://www.jumonji-u.ac.jp>

受験相談フリーダイヤル はい ろう よ! 十文字 **0120-8164-10**

〒352-8510 埼玉県新座市菅沢2-1-28

Tel 048-477-0924 (募集入試部直通)

E-mail: boshuu@jumonji-u.ac.jp